I-O DATA

PCカードスロット対応 外付型MOドライブ

MOA-AX/CBIDEシリーズ

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

60343-03

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i・CONNECTおよびi・CONNECTのロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- RINGOWINは富士通株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。


厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。


禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



濡れた手で、本製品を取り扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。



本製品のコネクタ部分に金属を差し込まないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
MOA-AX/CBIDE シリーズ	MOA-AX1300W/CBIDE,MOA-AX640SW/CBIDEの総称
MOA-AX/USBシリーズ	MOA-AX640S/USB
MOF-1300シリーズ	MOF-1300,MOF-1300BおよびMOF-1300/APの総称
本製品	MOA-AX/CBIDEシリーズ、または「MOA-AXシリーズとCBIDE＆ケーブルを接続したもの」
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me,Windows 98,Windows 95の総称
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0
Windows 3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1
Windows	Windows 2000,Windows Me/98/95,Windows NT,Windows 3.1の総称

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください..... i
お読みになる前に..... iv
もくじ..... v

はじめに 1

箱の中には..... 2
動作環境..... 4
注意事項..... 6
サポートソフトの予備を作ろう..... 10
各部の名前..... 11
添付品を取り付けよう..... 13
お使いのOSは？..... 16

Windows 2000でお使いの場合 17

使えるようにしよう..... 18
基本操作について..... 32
ユーティリティソフトについて..... 37

Windows Me/98/95でお使いの場合 41

使えるようにしよう..... 42
基本操作について..... 55

Windows NT 4.0でお使いの場合 63

使えるようにしよう..... 64
基本操作について..... 74

Windows 3.1、MS-DOSでお使いの場合 83

使えるようにしよう..... 84
基本操作について..... 91
補足..... 97

付録 ・・・・・・・・・・・・ １０９

困った時には ・・・・・・・・・・・・

はじめに

箱の中には …… 2

箱の中のものを確認します。

動作環境 …… 4

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

注意事項 …… 6

本製品を使う上での注意を説明します。

サポートソフトの予備を作ろう ……１０

サポートソフトの予備ディスクの作り方を説明します。

各部の名前 ……１１

スイッチなどの名前と機能を説明します。

添付品を取り付けよう ……１３

添付品を取り付ける方法を説明します。

お使いのOSは？ ……１６

お使いのOSに合ったページを案内します。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

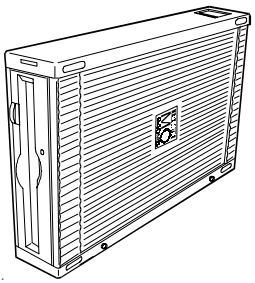
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

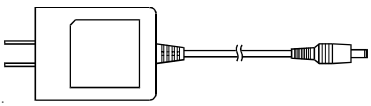
箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

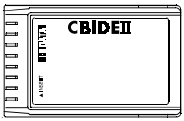
□ **MOドライブ（１個）**
［MOA-AXシリーズ］



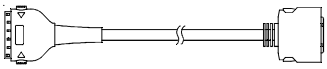
□ **ACアダプタ（１個）**



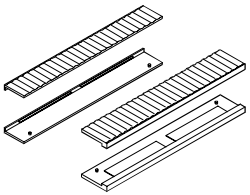
□ **PCカード（１個）**［CBIDEⅡ］



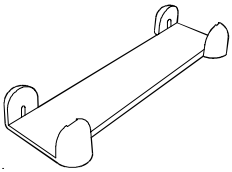
□ **接続ケーブル（１本）**



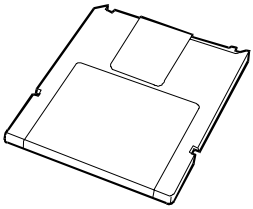
□ **カラーサイドパーツ（２色 各４個）**



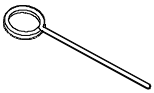
□ **スタンド（１個）**［縦置き用］



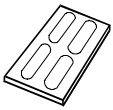
☐ **MOディスク(１枚)**
［640/1300Mバイトのいずれか］



☐ **強制イジェクト・ピン(１本)**



☐ **ラバーフット(４個)**［横置き用］



☑ **MOA-AX/CBIDEシリーズ取扱説明書(本書：１冊)**

☐ **MOシリーズサポートソフト(１枚)**［FD］

☐ **Windows 2000用MOユーティリティソフト(１枚)**［FD］

☐ **CBIDEⅡシリーズサポートソフト(１枚)**［FD］

☐ **RINGOWIN LE(１枚)**［CD-ROM］

☐ **ハードウェアシリアルNo.シール(１枚)**

☐ **Verシール(３枚)**

☐ **ハードウェア保証書(１枚)**

☐ **ユーザー登録カード(１枚)**

参考

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次のページに進みましょう！

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

CBIDEⅡのモード

同梱のPCカード［CBIDEⅡ］は、以下の２種類のモードがあります。
詳しくは、本書内お使いのOSのページ【使えるようにしよう】でご確認ください。

CardBusモード※1	PCカード規格TypeⅡ準拠のCardBusスロット(32bit)を装備し、Windows 95 OSR 2(Ver.4.00.950 B)以降がインストールされたパソコンで使用可能
16bitモード※2	PCカード規格TypeⅡ準拠のCardBusスロット(32bit)またはPCカードスロット(16bit)を装備したパソコンで使用可能

※1　バスマスタ転送方式による32bitデータ転送の高速転送を行います。

※2　UltraSMIT転送方式による16bit高速転送を行います。

対応機種および対応OS

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
DOS/Vマシン※1※2	Windows 2000 Windows Me Windows 98(SE含む) Windows 95※6 Windows NT 4.0※7※8 Windows 3.1(MS-DOS Ver.6.2/V(PC DOS J6.1/V)以降)※7※9 MS-DOS Ver.6.2/V(PC DOS J6.1/V)以降※9
NEC PC98-NXシリーズ※3	Windows 2000 Windows Me Windows 98(SE含む) Windows 95※6 Windows NT 4.0※7※8
NEC PC9821シリーズ※4※5	Windows 2000 Windows 98(SE含む) Windows 95※6 Windows NT 4.0※7※8 Windows 3.1(MS-DOS Ver.6.2以降) ※7※9 MS-DOS Ver.6.2以降※9

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2　CPU i386SX以上

※3　mobio NXシリーズの場合は、CardBusモードで使用できません。

※4　以下の機種で使用できます。

・CardBusまたは16bitモードで使用可能な機種

PC-9821Nr15,Nr150,Nr166,Nr233,Nr266,Nr300,Nw133,Nw150

・16bitモードのみ使用可能な機種

PC-9821Np,Ns,Nd,Nd2,Ne2,Ne3,Nm,Nf,Nx,Nb7,Nb10,Na7,Na9,Na12,Na13,
Na15,Nr12,Nr13,La7,La10,La13,Ld,Lt,Lt2,Ls12,Ls13,Ls150

※5　NEC PC-9821シリーズのWindows 98/95環境で「16bitモード」を使用する場合、「98NOTEメニュー」の[16Mバイトシステム空間]を[使用する]にしてください。

→「98NOTEメニュー」は、キーボードの[HELP]キーを押しながらパソコン本体の電源をONまたはリセットすると起動します。くわしくは、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

※6　Windows 95で「CardBusモード」が動作可能なのは、Windows 95 OSR2 (Ver.4.00.950 B)以降です。

※7　Windows NT 4.0,Windows 3.1,MS-DOS(PC-DOS)では、CBIDEIIは「16bitモード」動作のみ可能です。

※8　Service Pack 4以降のみ対応となります。

※9　Windows 3.1,MS-DOS(PC DOS)環境では、PCカードドライバ(ソケットサービス/カードサービス[リリース2.0以上])が必要です。

例）IBM Play At Will 2.0,SystemSoft CardSoft 3.1,Phoenix PCM plus 3.0

DOS/Vマシンの場合は、標準でPCカードドライバが添付されていない場合がありますのでご確認ください。なお、PCカードドライバに関しては、各パソコン本体メーカーにお問い合わせください。

→PCカードドライバがパソコン本体メーカーより提供されていないときは、ご利用いただけません。

注意事項

本製品を使用するときに注意していただきたいことを記載しています。お使いになる前にお読みください。
各サポートソフト内の「README.TXT」も併せてご覧ください。

使用上の注意

●本製品に付いた汚れを落とす場合は･･･

柔らかい布で乾拭きしてください。
洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めて使ってください。
ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わないでください。

●動作中にケーブルを激しく動かさない

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

●定期的にバックアップする

記録されたデータやプログラムファイルは、誤動作や故障などによってファイルが破壊された場合、復旧することができません。

●本製品を長時間、連続で使わない

本製品内部は書き込み時、かなり高温になります。そのため長時間、MOディスクのフォーマットや書き込み作業を行うと、本製品の安全装置が働き、処理が中断されてしまう場合があります。
このような場合は、本製品を取り外して電源を切り、本製品をしばらく冷やしてください。その後、中断された処理を再び行ってください。

●本製品内部で結露させたまま使わない

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、本体内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。時間をおいて、結露がなくなってから使ってください。

●本製品内部に液体、金属などの異物を入れない

本製品の故障の原因となります。

●640Mバイト以上のMOディスクは圧縮ドライブとして使わない

●MOディスクに「ディスクコピー」を使わない

「ディスクコピー」は、MOディスクに対応していません。エラーメッセージが表示されたり、パソコンが動かなくなります。

●MOディスクの読み書き中に、下記に注意する

・MOディスクを取り出したり、パソコンや本製品の電源を切らない

記録されたファイルの読み書きができなくなったり、MOディスクが傷つき、使えなくなる場合があります。

・省電力モードにしない

MOディスク内のデータが破損する原因となります。



省電力モード
スタンバイ/休止/スリープなどを指す。

●長期間使わない場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜く

ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

●MOディスク内部に直接触れない

MOディスクが故障する原因となります。

●MOディスクのシャッターにラベルを貼らない

本製品、MOディスクが故障する原因となります。

●ラベルを2重3重に重ねて貼らない

本製品内部ではがれ、故障の原因となります。

●本製品内部のクリーニングについて

空気中に浮遊するゴミ・チリ、およびタバコの煙などにより、データの読み書きができなくなるおそれがあります。
なお、タバコの煙がレンズなどに付きますと、クリーニングキットでは取れない汚れとなる場合があります。本製品の周囲での喫煙はお控えください。
日常のお手入れとしては、下記のクリーニングキットをお使いの上、定期的なクリーニングをお願いいたします。



推奨クリーニングキット
「Head CLEANER No.0240470」（富士通コワーコ株式会社）
住所　〒160-0023
東京都 新宿区西新宿 6-24-1　西新宿三井ビルディング
TEL/FAX　03-3342-5460/03-3342-5446
Web　http://www.coworco.fujitsu.com/

本製品の取り扱いについて
富士通株式会社の下記ホームページも併せてご覧ください。
http://mo.fujitsu.com/support/maintain/



上記クリーニングキットをお使いください
弊社では、上記クリーニングキットでのみ動作保証を行っております。
これ以外の市販品では動作の保証は行っておらず、弊社製品に対しお使いになりますと、本製品内部の損傷原因となる場合があります。ご注意ください。

●同梱のCBIDEⅡと他のPCカードを同時に使用する場合は･･･

・CBIDEⅡがCardBusモードの場合

CardBus モードの PC カードは複数枚を同時に使用できない場合があります。
→CBIDEⅡを 16bit モードに変更するか、あるいは他の CardBus モードの PC カードと同時に使用しないでください。
また、他の 16bit モードの PC カードと同時に挿入した状態でパソコンを起動すると、起動途中で止まってしまう場合があります。
→他の 16bit モードの PC カードを抜いてパソコンを再起動し、起動後に他の 16bit モードの PC カードを挿入してください。

・CBIDEⅡが16bitモードの場合

他の CardBus モードの PC カードと同時に挿入した状態でパソコンを起動すると、起動途中で止まってしまう場合があります。

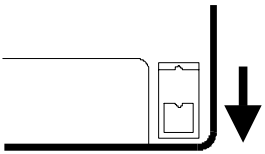
→他の CardBus モードの PC カードを抜いてパソコンを再起動し、起動後に他の CardBus モードの PC カードを挿入してください。

サポートソフトの予備を作ろう

本製品に添付されているフロッピーディスクは必ず予備を作り、予備の方をご使用ください。ここでは、予備の作り方を説明します。（お使いのパソコンにフロッピーディスクドライブが無い場合は読み飛ばしてください。）
※以下の例は、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合です。

1　フォーマット済みのフロッピーディスクを１枚用意します。
フロッピーディスクは「3.5インチ2HD：1.44Mバイト」を用意します。

2　サポートソフトを書き込み禁止にし、フロッピーディスクドライブに挿入します。



3　ディスクのコピーを行います。
Windowsの場合は、［マイコンピュータ］の［3.5インチFD］アイコンを右クリックし、表示された［ディスクのコピー］をクリックします。



MS-DOSの場合は、MS-DOSのコマンド入力の状態で「diskcopy a: a:」※と入力し、[Enter]キーを押します。（※aはフロッピーディスクドライブ名）

```
C:¥>diskcopy a: a:
```

4　メッセージにしたがって、予備のディスクを作ります。
サポートソフトと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、予備のディスクを作ります。

サポートソフトを破損した場合の修理は有償です。
必ず予備のディスクを作り、サポートソフトは大切に保管してください。

各部の名前

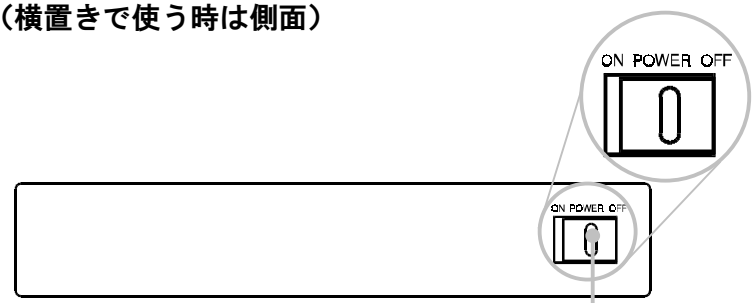
各部の名称および機能の確認をします。

MOドライブ(MOA-AXシリーズ)

●前背面



●上面（横置きで使う時は側面）



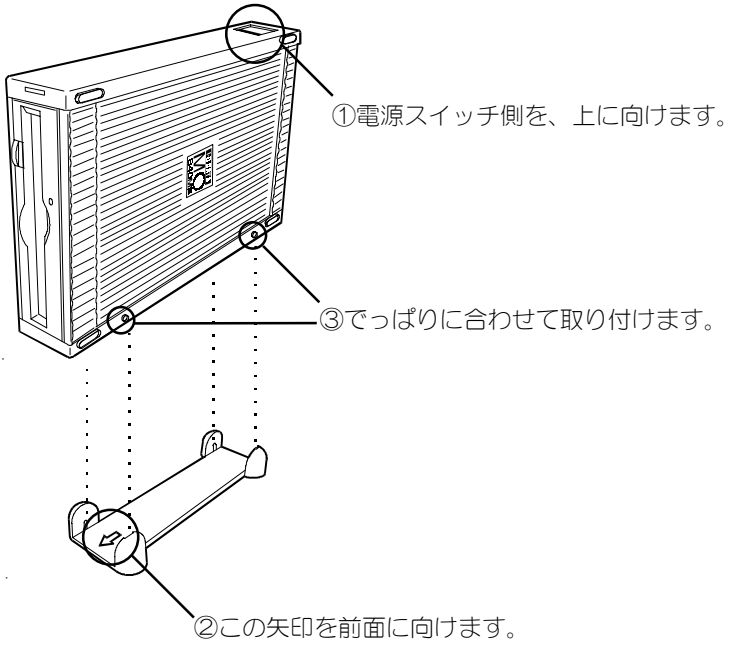
電源スイッチ

前面へ動かすと、電源が入ります。

添付品を取り付けよう

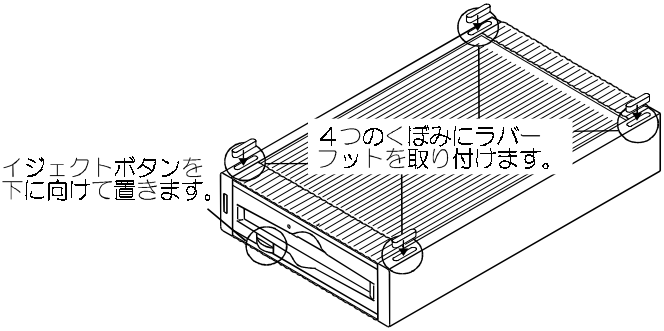
添付品の取り付けについて説明します。

縦置きで使う　～スタンドの取り付け～



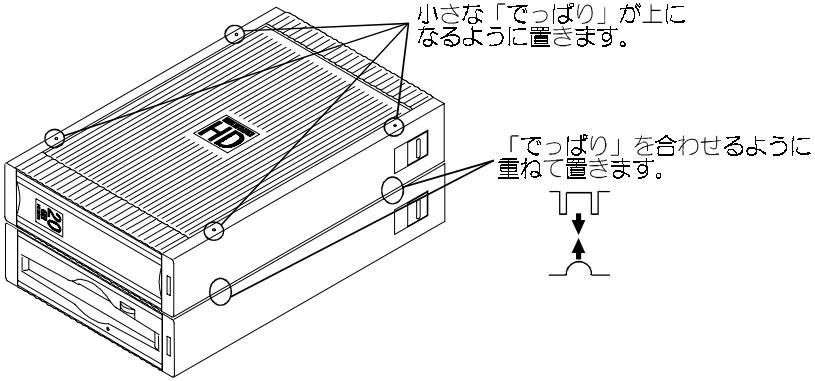
横置きで重ねず使う　～ラバーフットの取り付け～

本製品を安定した場所にイジェクトボタンを下に向けて置き、４個所にラバーフットを取り付けます。取り付けた後は、ラバーフットを下にして置いてください。
※本製品を他のMOAシリーズやHDA-iシリーズの上に重ねて使う場合は、ラバーフットは取り付けないでください。



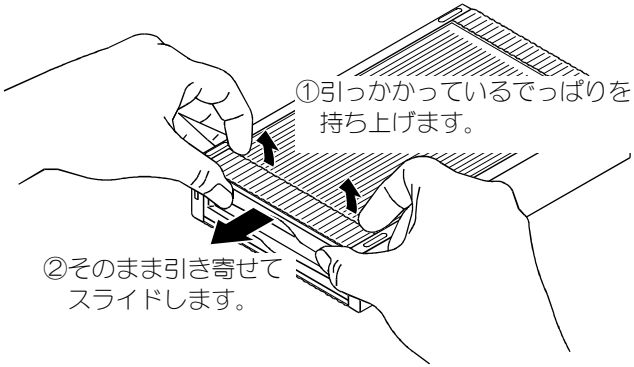
横置きで重ねて使う

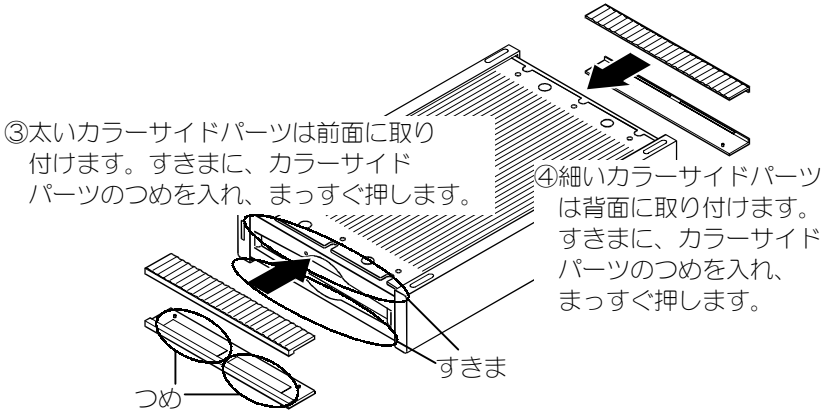
MOAシリーズやHDA-iシリーズと重ねて置けます。（本製品を含めて２台まで）
下に置くものには上記をご覧になり、ラバーフットを取り付けてください。
上に重ねるものは、そのまま図のように置いてください。



色を変える　～カラーサイドパーツの取り付け～

本製品には、コーディネートをお楽しみいただくためにカラーサイドパーツが添付されています。
お部屋の雰囲気に合わせて、下のように取り替えてみてはいかがでしょうか。





お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合ったページを案内しています。
下の表をご覧になり、それぞれのページへお進みください。

お使いのOS	章	
Windows 2000	【Windows 2000でお使いの場合】	17ページ
Windows Me/98/95	【Windows Me/98/95でお使いの場合】	41ページ
Windows NT 4.0	【Windows NT 4.0でお使いの場合】	63ページ
Windows 3.1、MS-DOS	【Windows 3.1、MS-DOSでお使いの場合】	83ページ

Windows 2000でお使いの場合

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・１８

本製品と同梱のPCカード［CBIDEⅡ］をはじめて接続する際の手順について説明します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・３２

本製品を使う上での操作について説明します。

ユーティリティソフトについて ・・・・・・・・・・・・・・・３７

本製品のユーティリティについて説明します。

使えるようにしよう

本製品とPCカード［CBIDEⅡ］をはじめて接続する際の手順について説明します。
以下の手順にしたがい、お進みください。

手順	
1. PCカード［CBIDEⅡ］のモード確認	本ページ
2. 本製品を接続しよう	20ページ
3. ソフトウェアのインストール	22ページ
4. 確認しよう	30ページ

はじめに、以下のものをご用意ください。

用意するもの
- **本製品（MOドライブ）**
- **PCカード［CBIDEII］**
- **ACアダプタ**
- **接続ケーブル**
- **CBIDEIIシリーズサポートソフト（FD）**
- **Windows 2000用MOユーティリティーソフト（FD）**
- **Windows 2000インストール済みのパソコン**
  （対応機種につきましては、4ページでご確認ください。）

1. PCカード［CBIDEⅡ］のモード確認

同梱のPCカード［CBIDEⅡ］は、以下の2種類のモードがあります。
（出荷時は「CardBusモード」に設定されています。）

CardBusモード：バスマスタ転送方式で32bitデータ高速転送を行います。
16bitモード　：UltraSMIT転送方式で16bitデータ高速転送を行います。

お使いのパソコンで使用可能なモードを確認します。

1 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

2 使用可能なPCカードのモードを確認します。

《確認方法》

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。

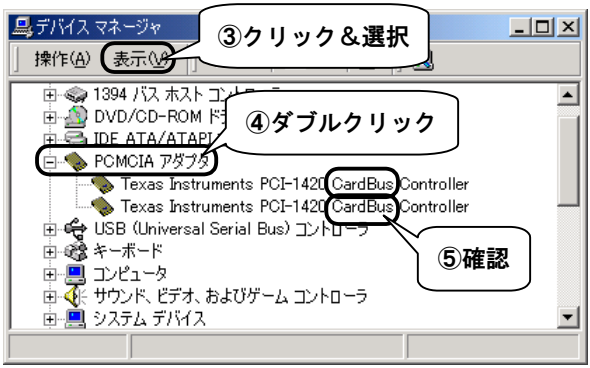
②[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

③[表示]メニューから[デバイス(種類別)]を選択します。

④[PCMCIAアダプタ]をダブルクリックします。

⑤表示に「CardBus」という記述があるかどうかを確認します。

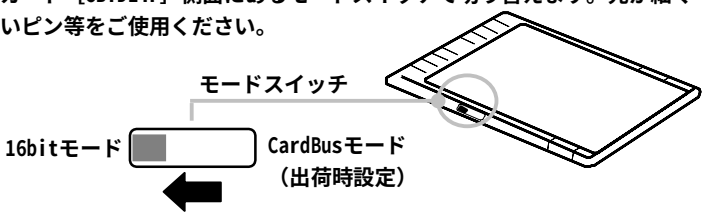
「CardBus」という記述がある
→PCカード［CBIDEⅡ］はそのままご利用いただけます。
「CardBus」という記述が無い
→PCカード［CBIDEⅡ］を「16bitモード」に切り替えてご利用ください。



参考

PCカード［CBIDEⅡ］のモードの切り替え方法

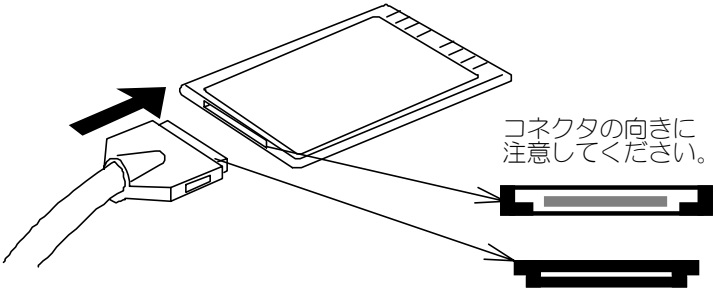
PCカード［CBIDEⅡ］側面にあるモードスイッチで切り替えます。先が細く硬いピン等をご使用ください。



2. 本製品を接続しよう

1 PCカード［CBIDEⅡ］にケーブルを接続します。

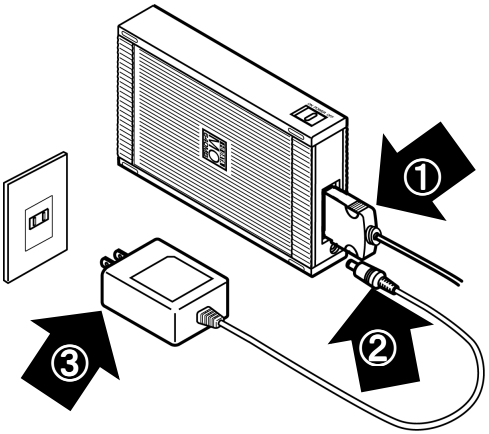
接続ケーブルの専用コネクタを、「カチッ」と音がするまで差し込み、
軽く引っ張って抜けないことを確認します。



PCカード［CBIDEⅡ］から接続ケーブルを取り外すには？
→接続ケーブルの両側にある「ツメ」を押しながら水平に抜いてください。

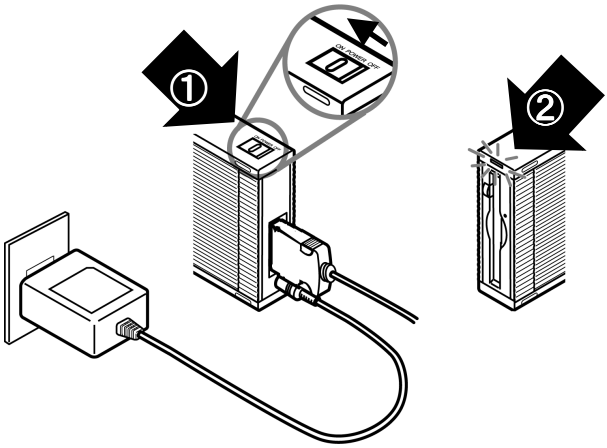
2 MOドライブにケーブル、ACアダプタを接続します。

①接続ケーブルのi･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、MOドライブにまっすぐ差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。
③AC アダプタを電源コンセントに接続します。



3 MOドライブの電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に入れます。
②電源ランプが点灯するのを確認します。



まだPCカード［CBIDEⅡ］を接続しないでください
PCカード［CBIDEII］は本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（次ページの手順3以降で接続します。）

3. ソフトウェアのインストール

本製品を使用するために必要な以下のソフトウェアを順にインストールします。

・CBIDEⅡシリーズサポートソフト

・Windows 2000用MOユーティリティーソフト

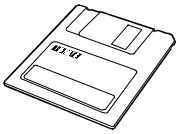
必ず本書の手順に従ってインストールしてください。

注意

まだPCカード［CBIDEⅡ］を接続しないでください
PCカード［CBIDEII］は本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（以下の手順3以降で接続します。）

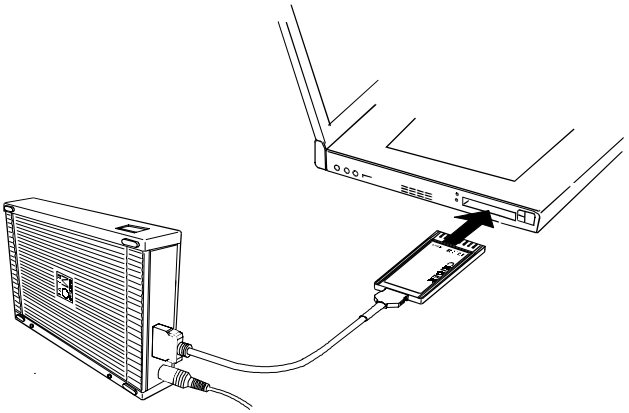
1 パソコンの電源を入れて、Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

2 「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。

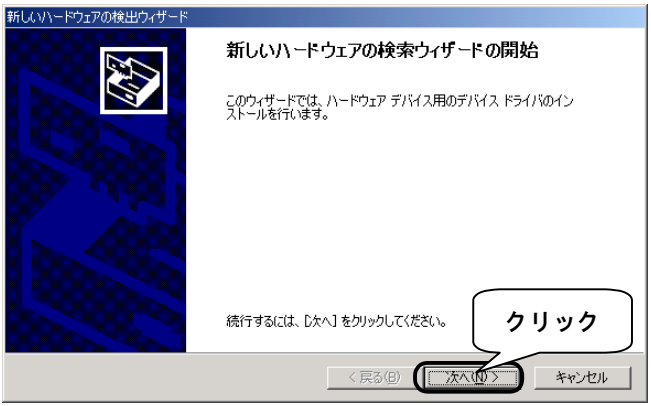


3 PCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットに接続します。

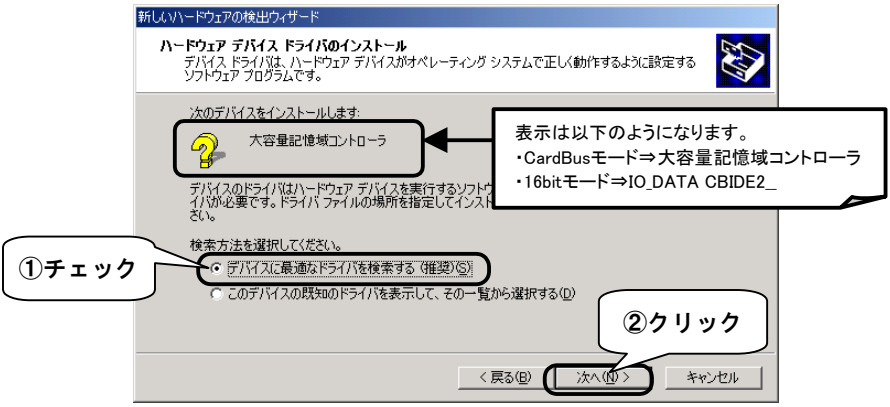
奥までしっかりと差し込んでください。



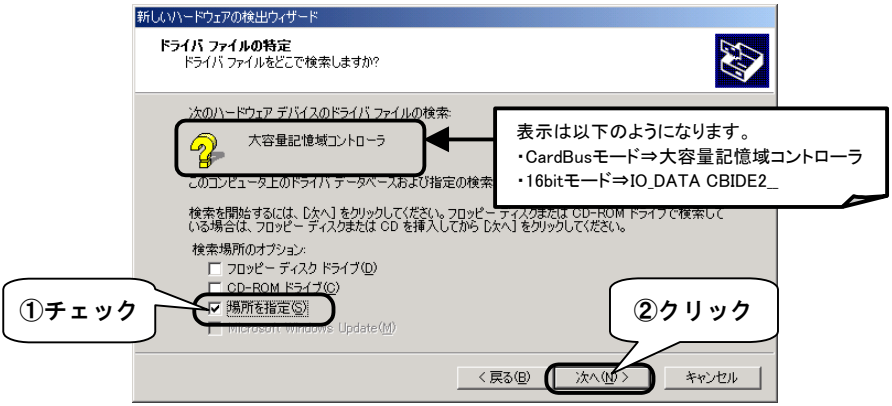
4 ［次へ］ボタンをクリックします。



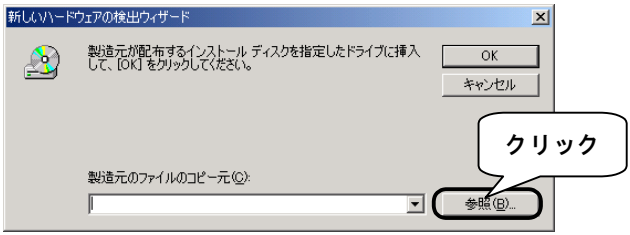
5 [デバイスに最適なドライバを検索する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



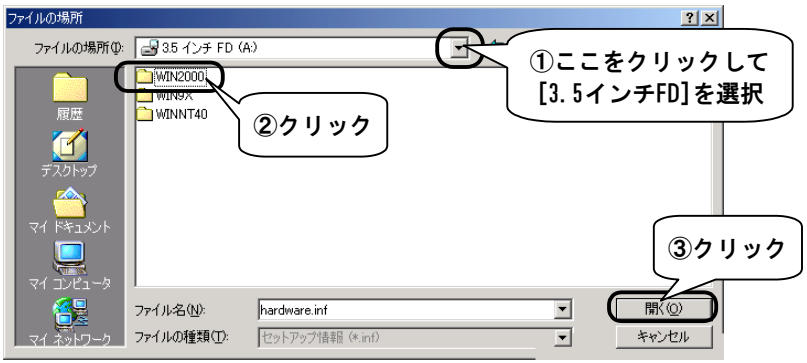
6 **［場所を指定］のみ**をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。



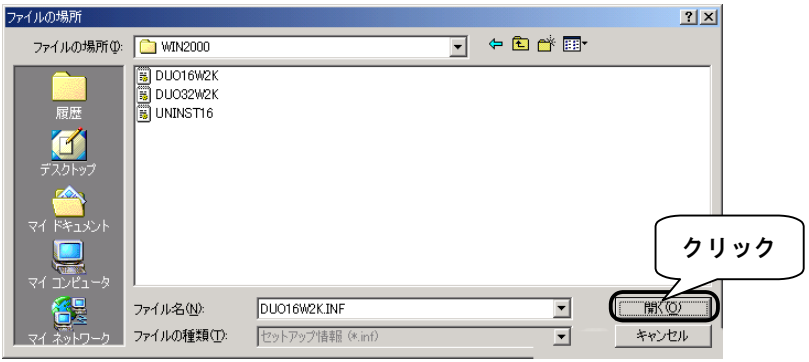
7 ［参照］ボタンをクリックします。



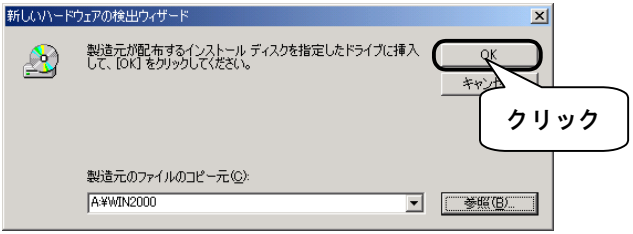
8 ［3.5インチFD］（ここではA:）内の［WIN2000］をクリックして、［開く］ボタンをクリックします。



9 ［開く］ボタンをクリックします。



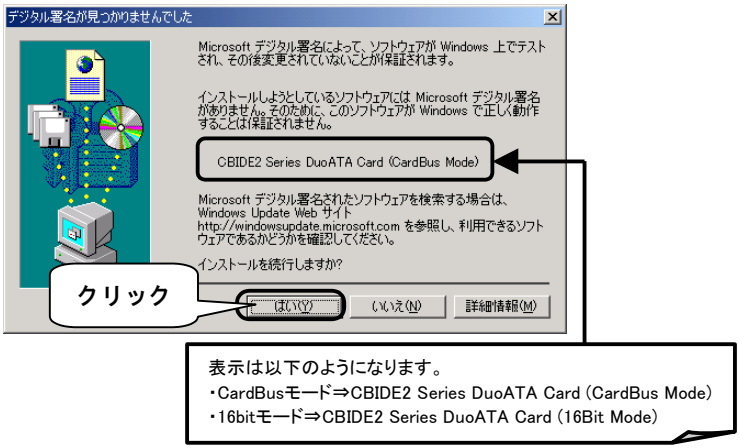
10 ［OK］ボタンをクリックします。



11 ［次へ］ボタンをクリックします。



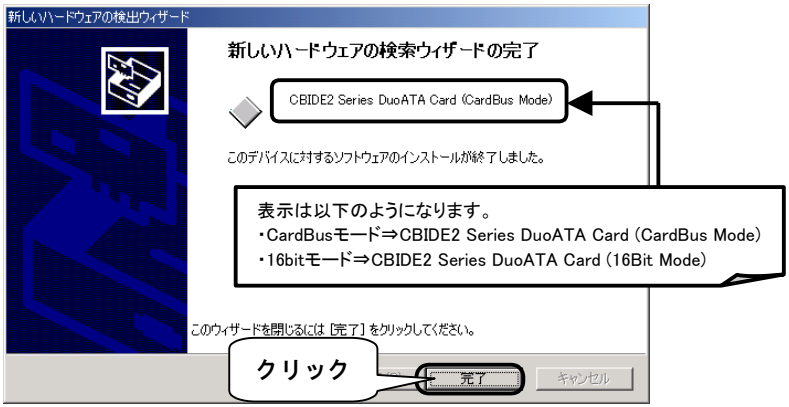
12 ［はい］ボタンをクリックします。



参考

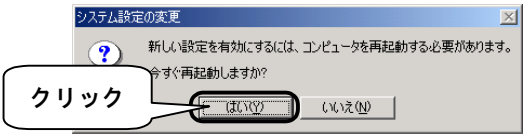
弊社製ソフトウェアが確認された時点で「マイクロソフトが認証するソフトウェアではありません」というメッセージが表示されますが、そのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQLという組織においてPC本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。弊社では順次手続きを行う予定ですが、このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりません。

13 ［完了］ボタンをクリックします。

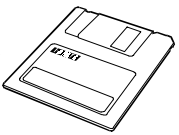


14 「CBIDE Ⅱ シリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブから取り出します。

15 **以下の画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックして、Windowsを再起動してください。**



16 **「Windows 2000 用 MO ユーティリティソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。**

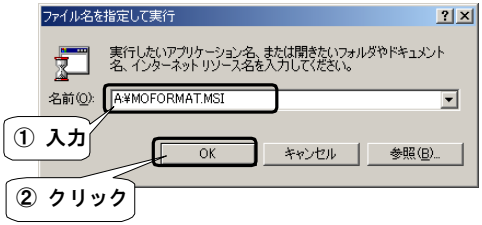


17 **［ファイル名を指定して実行］を起動します。**

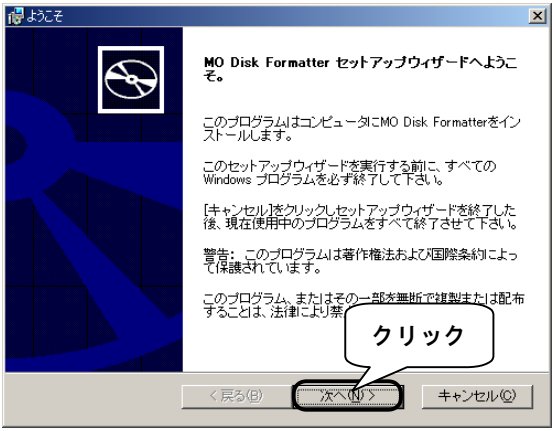
［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

18 **「MOFORMAT.MSI」を起動します。**

「A:¥MOFORMAT.MSI」（フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）と入力し、［OK］ボタンをクリックします。



19 **［次へ］ボタンをクリックします。**



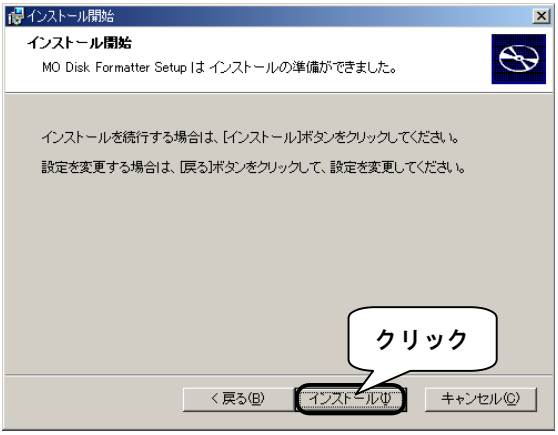
20 ［次へ］ボタンをクリックします。



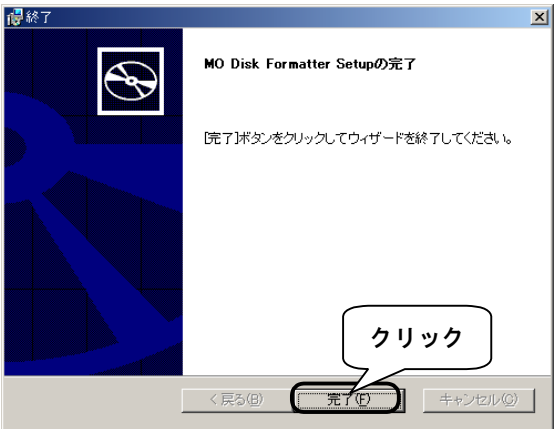
ここではインストール先のフォルダの設定を変更することができます。
設定を変更したい場合は、［参照］ボタンをクリックして変更してください。
通常は変更する必要はありません。

21 ［インストール］ボタンをクリックします。

⇒README. TXT が開かれますので、お読みください。

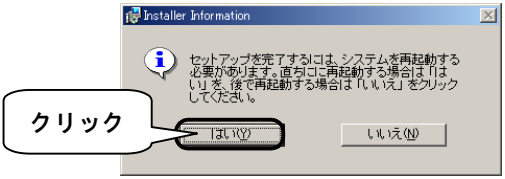


22 ［完了］ボタンをクリックします。



23 再起動を行います。

「Windows 2000 用 MO ユーティリティソフト」をフロッピーディスクドライブから抜き、［はい］ボタンをクリックします。



4. 確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

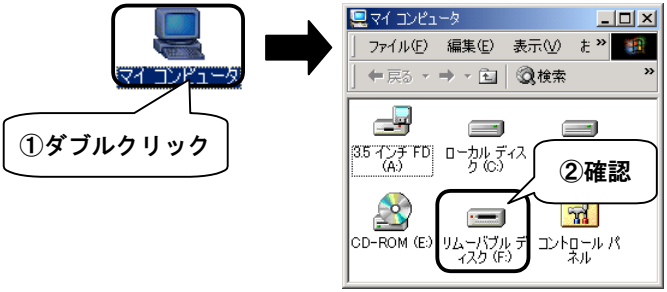
1 本製品にMOディスクを挿入します。

2 本製品のアイコン 

を確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中に［リムーバブルディスク］アイコンがあることを確認します。



［リムーバブルディスク］アイコンがない
111ページ【困ったときには】をご覧ください。

複数の［リムーバブルディスク］アイコンがある場合
Windowsでフォーマットされた MOディスクを本製品のみに挿入します。
［リムーバブルディスク］アイコンを順番に開いていき、そのMOディスクの内容が表示されるアイコンが本製品のアイコンです。

3 Windows画面右下にあるリムーバブルツール をダブルクリックします。



4 PCカード［CBIDEⅡ］と本製品を確認して、［閉じる］ボタンをクリックします。

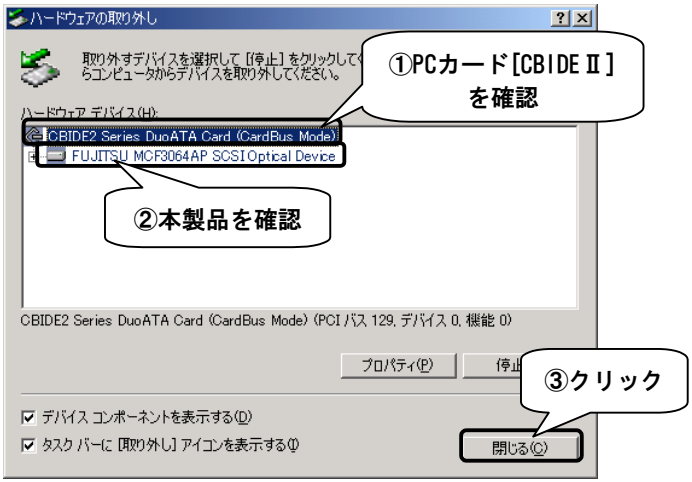
①PC カード［CBIDEⅡ］は、以下のように表示されます。

・CardBus モードの場合 → CBIDE2 Series DuoATA Card(CardBus Mode)

・16bit モードの場合 → CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)

②本製品は、以下のように表示されます。

FUJITSU MCF3064AP SCSI Optical Device



以上で本製品は使えるようになりました。

次ページ【基本操作について】にて使用方法をご覧の上、お使いください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品をパソコンに接続する	本ページ
本製品をパソコンから取り外す	33ページ
MOディスクの操作	35ページ

本製品をパソコンに接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

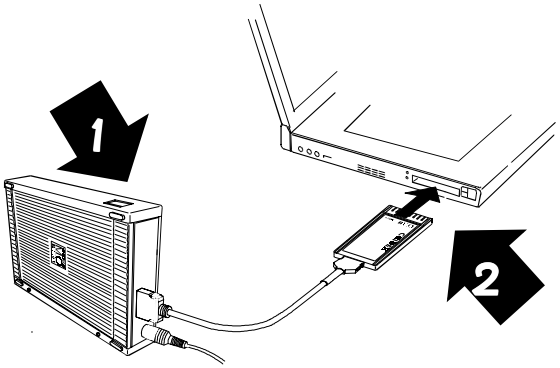
パソコンの電源が切れているときに本製品を接続する際は、本製品にMOディスクを入れた状態でパソコンを起動しないでください。

1 本製品の電源を入れます。

パソコンに接続する前に必ず本製品の電源を入れてください。

2 本製品と接続したPCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットに接続します。

奥までしっかりと差し込んでください。



本製品をパソコンから取り外す

操作	
●パソコンの電源を切って取り外す	本ページ
●パソコンの電源を切らずに取り外す	34ページ

●パソコンの電源を切って取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。

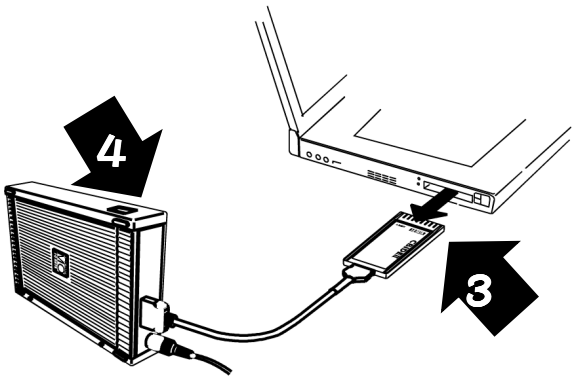
操作は、【●MOディスクを取り出す】(36ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

[スタート]→[シャットダウン]を順にクリックし、表示された画面で[シャットダウン]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

3 本製品と接続したPCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。



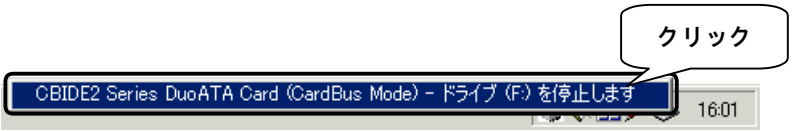
●パソコンの電源を切らずに取り外す

1 **本製品からMOディスクを取り出します。**
操作は、【●MOディスクを取り出す】(36ページ)をご覧ください。

2 **Windows画面右下にあるリムーバブルツール をクリックします。**



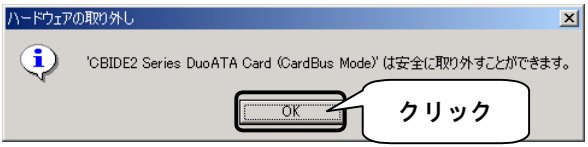
3 **表示された［…を停止します］をクリックします。**



注意

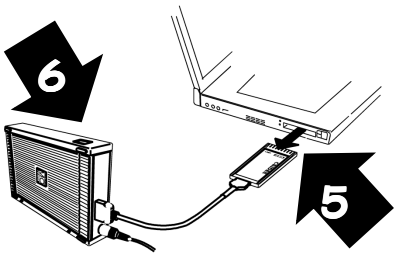
「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示される場合は、前ページの【●パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

4 **［OK］ボタンをクリックします。**



5 **本製品と接続したPCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットから取り外します。**

6 **本製品の電源を切ります。**



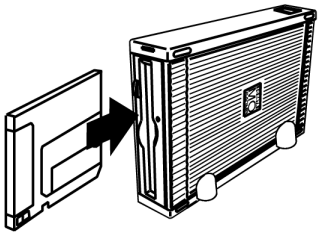
MOディスクの操作

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	36ページ
●MOディスクをフォーマットする	36ページ

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

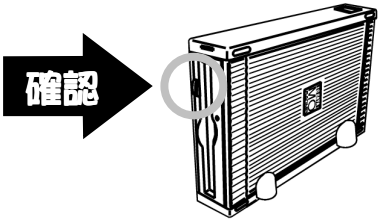
MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



注意

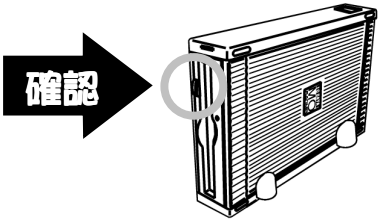
MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。



●MOディスクを取り出す

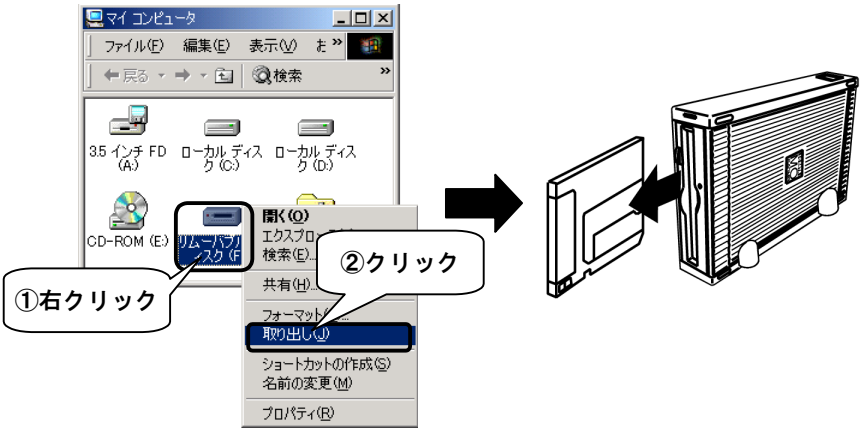
1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。



2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

［マイコンピュータ］をダブルクリックし、本製品のアイコンを右クリックして表示されたメニューの［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



注意

MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(112ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

MOディスクのフォーマットには「MOディスクフォーマッタ」を使います。

次ページ【ユーティリティソフトについて】をご覧ください。

ユーティリティソフトについて

Windows 2000用MOユーティリティソフトについて説明します。

ユーティリティソフトは2つあります。

ユーティリティソフト	
MOディスクフォーマッタ	本ページ
フォーマット／イジェクト権限変更ツール	40ページ

MOディスクフォーマッタ

「MOディスクフォーマッタ」を使えば、MOディスクをフォーマットできます。

ユーザー権限の場合

パソコンの電源を入れる前に、電源を入れた本製品を接続してください。パソコンの電源が入っている状態で本製品を接続、もしくは取り外しを行うと、MOディスクのフォーマット、イジェクトが正常にできなくなります。できない場合は、一度Administrator権限を持つアカウントでログオンし直すか、Windowsを再起動してください。

「MOディスクフォーマッタ」の起動

「MOディスクフォーマッタ」はWindows Me/98/95/NT 4.0用の「MOフォーマット」とは異なり、本製品のアイコンを右クリックしても表示されません。次ページの手順にしたがって起動してください。

すべてのユーザーで、MOディスクをフォーマットしたい場合は

Windows 2000では、Administrator権限を持つユーザーのみフォーマットすることができます。

【フォーマット／イジェクト権限変更ツール】(40ページ)をご覧になり、権限を［全てのユーザー］に変更してください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合は

「MOディスクフォーマッタ」による物理フォーマットをすることにより再び使うことができる場合があります。

●フォーマット方法

1 本製品にMOディスクを挿入します。

2 「MOディスクフォーマッタ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［MOディスクフォーマッタ］の順にクリックします。

3 本製品を選びます。



本製品の表示
MOA-AX1300W：FUJITSU MCE3130AP
MOA-AX640SW：FUJITSU MCF3064AP

4 フォーマット形式を設定します。

フォーマット形式および物理フォーマットするかどうかを設定します。



選択できるフォーマット形式
・フロッピィ形式(FAT16)　・フロッピィ形式(FAT32)
・ハードディスク形式(FAT16)　・ハードディスク形式(FAT32)
通常は、「フロッピィ形式（FAT16）」でフォーマットしてください。

(FAT32)のフォーマット形式でフォーマットしたMOディスク
MS-DOSなどのFAT32に対応していないOSでは読み書きできません。

通常、［物理フォーマット］にチェックは要りません
物理フォーマットには時間がかかります。

5 必要ならば、ボリュームラベルを入力します。

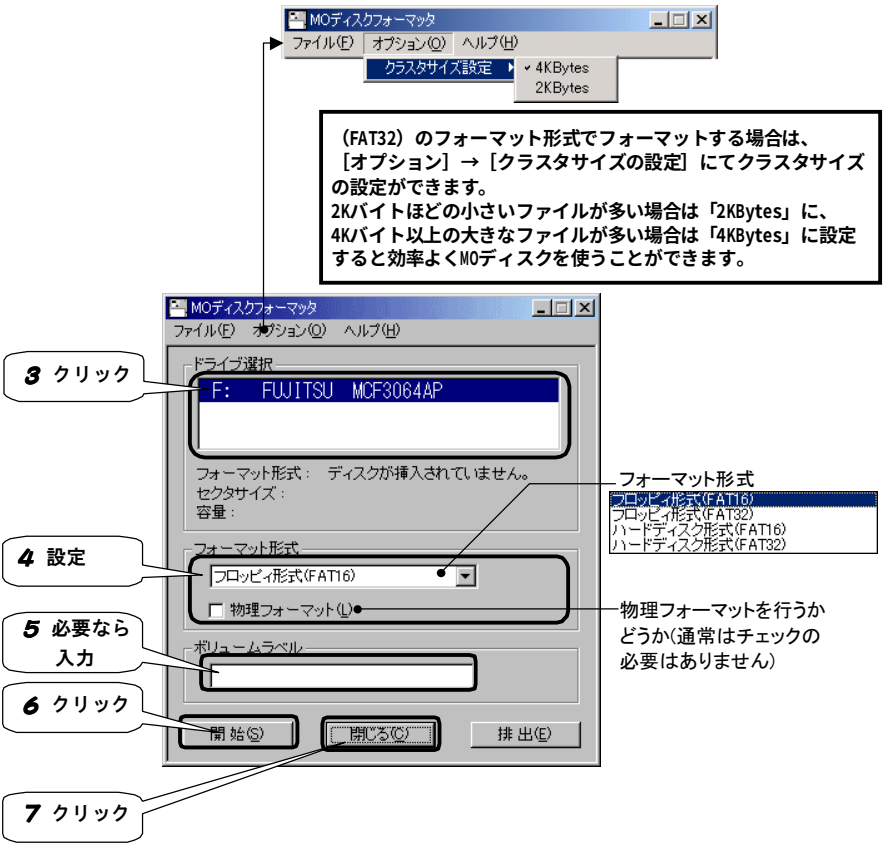
6 ［開始］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが始まります。

7 作業が終わったら、［閉じる］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットは終了です。

（FAT32）の場合のみ


MOディスクフォーマッタ
ファイル(F)
オプション(O)
ヘルプ(H)
クラスタサイズ設定
4KBytes
2KBytes
（FAT32）のフォーマット形式でフォーマットする場合は、
［オプション］→［クラスタサイズの設定］にてクラスタサイズの設定ができます。
2Kバイトほどの小さいファイルが多い場合は「2KBytes」に、
4Kバイト以上の大きなファイルが多い場合は「4KBytes」に設定すると効率よくMOディスクを使うことができます。
MOディスクフォーマッタ
ファイル(F)
オプション(O)
ヘルプ(H)
ドライブ選択
F: FUJITSU MCF3064AP
フォーマット形式： ディスクが挿入されていません。
セクタサイズ：
容量：
フォーマット形式
フロッピィ形式(FAT16)
物理フォーマット(L)
ボリュームラベル
開始(S)
閉じる(C)
排出(E)
3 クリック
4 設定
5 必要なら入力
6 クリック
7 クリック
フォーマット形式
フロッピィ形式(FAT16)
フロッピィ形式(FAT32)
ハードディスク形式(FAT16)
ハードディスク形式(FAT32)
物理フォーマットを行うかどうか(通常はチェックの必要はありません)

フォーマット／イジェクト権限変更ツール

Windows 2000では、Administrator権限のユーザーのみがMOディスクをフォーマット／イジェクトできます。しかし、このツールを使えば、Administrator権限を持っていないユーザーでもMOディスクをフォーマット／イジェクトできるようになります。

●権限変更方法

1 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

2 「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［フォーマット／イジェクト権限変更ツール］の順にクリックします。

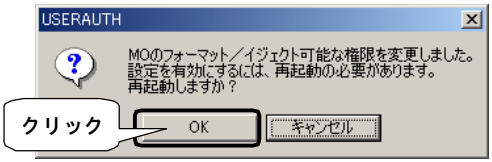
3 権限を変更します。

［グループ］欄でフォーマット／イジェクトの権限を変更します。
終わりましたら、［OK］ボタンをクリックします。



4 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒再起動します。



Windows Me/98/95でお使いの場合

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・４２

本製品と同梱のPCカード［CBIDEⅡ］をはじめて接続する際の手順について説明します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・５５

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

本製品とPCカード［CBIDEⅡ］をはじめて接続する際の手順について説明します。
以下の手順にしたがい、お進みください。

手順	
1. PCカード［CBIDEⅡ］のモード確認	本ページ
2. ソフトウェアのインストール	44ページ
3. 本製品を接続しよう	50ページ
4. 確認しよう	52ページ

はじめに、以下のものをご用意ください。

用意するもの
- **本製品（MOドライブ）**
- **PCカード［CBIDEII］**
- **ACアダプタ**
- **接続ケーブル**
- **CBIDEIIシリーズサポートソフト（FD）**
- **MOシリーズサポートソフト（FD）**
- **Windows Meまたは98または95インストール済みのパソコン**
  （対応機種につきましては、4ページでご確認ください。）

1. PCカード［CBIDEⅡ］のモード確認

同梱のPCカード［CBIDEⅡ］は、以下の2種類のモードがあります。
（出荷時は「CardBusモード」に設定されています。）

CardBusモード：バスマスタ転送方式で32bitデータ高速転送を行います。
16bitモード　：UltraSMIT転送方式で16bitデータ高速転送を行います。

お使いのパソコンで使用可能なモードを確認します。

1 パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。

お使いのOSがWindows 95の場合、次ページの方法でバージョンを確認してください。

Windows 95のバージョンの確認方法

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックして、[システム]アイコンをダブルクリックします。

②表示される番号がWindows 95のバージョンです。



2 使用可能なPCカードのモードを確認します。

《確認方法》

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。

②[デバイスマネージャ]タブをクリックします

③[PCMCIAソケット]をダブルクリックします。

④表示に「CardBus」という記述があるかどうかを確認します。

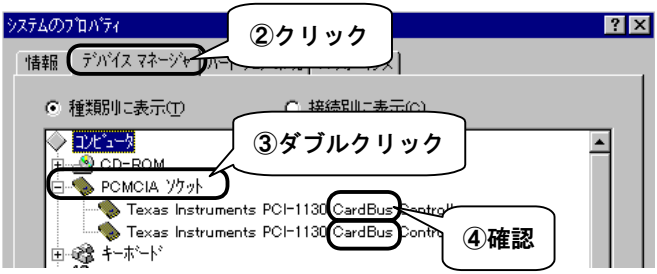
「CardBus」という記述がある

- **Windows Me/98、Windows 95 4.00.950 B、Windows 95 4.00.950 Cの場合**
  →PCカード［CBIDE II］はそのままご利用いただけます。
- **Windows 95 4.00.950、Windows 95 4.00.950aの場合**
  →PCカード［CBIDE II］を「16bitモード」に切り替えてご利用ください※。

「CardBus」という記述が無い

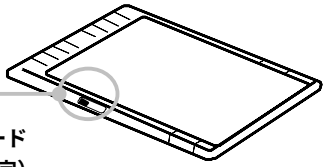
→PCカード［CBIDE II］を「16bitモード」に切り替えてご利用ください※。

※PCカード［CBIDE II］のモードの切り替え方法は、次ページをご覧ください。



PCカード［CBIDEⅡ］のモードの切り替え方法

PCカード［CBIDEII］側面にあるモードスイッチで切り替えます。先が細く硬いピン等をご使用ください。



2. ソフトウェアのインストール

本製品を使用するために必要な以下のソフトウェアを順にインストールします。

・CBIDEⅡシリーズサポートソフト

・MOシリーズサポートソフト

必ず本書の手順に従ってインストールしてください。

・まだPCカード［CBIDEⅡ］を接続しないでください
PCカード［CBIDEII］は本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（51ページの手順4以降で接続します。）

・Windows 95からWindows 98へアップグレードする場合
「MOシリーズサポートソフト」を削除した後にアップグレードを行ってください。

・Windows 3.1/MS-DOSからWindows 98/95へアップグレードする場合
CONFIG.SYSから、「MODISK.SYS（またはMODISKX.SYS）」「ATASPI.EXE」を含む行を削除してください。

・すでに弊社製MOドライブをお使いの方は
すでに弊社製MOドライブ（MOP-230を除く）をお使いの場合は、サポートソフト（MOFシリーズ、MOF/MOAシリーズ、MOシリーズ）を削除してください。サポートソフトを削除しても、本製品のサポートソフトのインストールが終われば、問題なくお使いいただけます。MOドライブのサポートソフトの削除方法につきましては、各取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

2 「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。

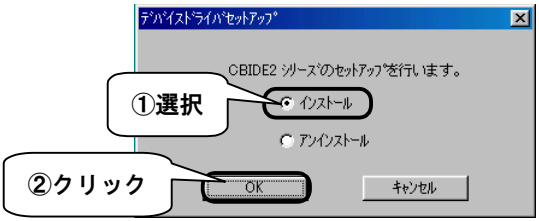


3 [Ddsetup] を起動します。

[マイコンピュータ] → [3.5インチFD] → [Win9x] → [Ddsetup]
(または [Ddsetup.exe]) を順にダブルクリックします。



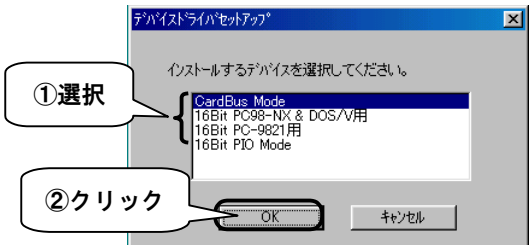
4 [インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



5 インストールするデバイスを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

・［CardBus Mode］　→「CardBusモード」※
・［16Bit PC98-NX & DOS/V用］→「16bitモード」※で、ご使用のパソコンがPC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシン
・［16Bit PC-9821用］→「16bitモード」※で、ご使用のパソコンがPC-9821シリーズ

※42ページ【1.PCカード［CBIDE II］のモード確認】で確認したモードを選択します。

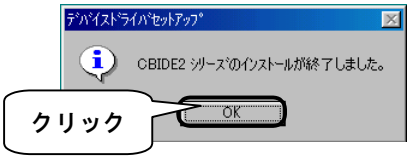


はじめてインストールする場合は、[16Bit PIO Mode]を選択する必要はありません。[16Bit PIO Mode]は上記のモードで動作しない場合に選択します。

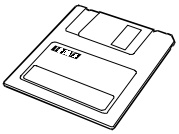
6 ［OK］ボタンをクリックします。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

引き続き必要なソフトウェアのインストールを行います。

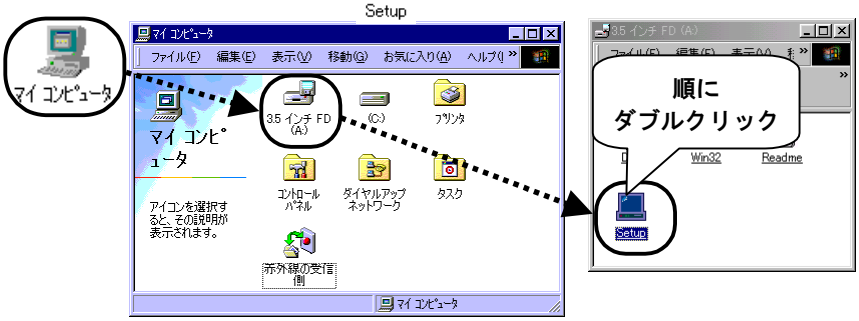


8 「MOシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。



9 [SETUP]を起動します。

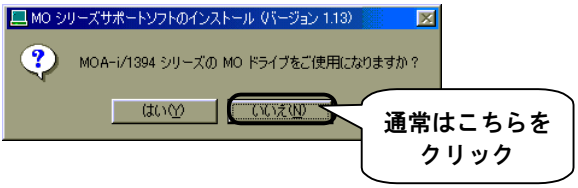
[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[Setup]（または[Setup.exe]）アイコン  の順にダブルクリックします。



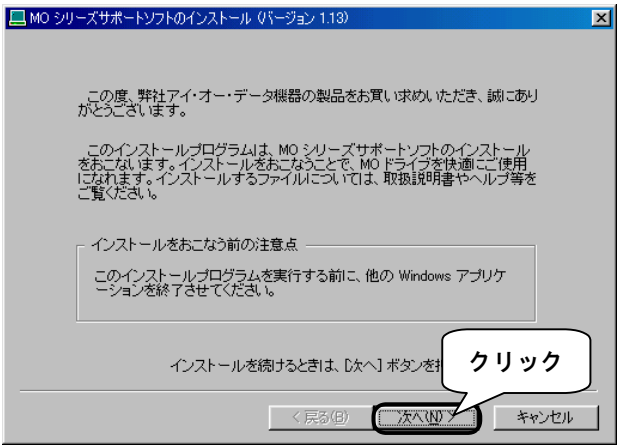
10 Windows 98 SEで本製品をお使いの場合は、【MOドライブのインストール】の手順にて、下のような画面が表示されます。

すでに弊社製「MOA-i/1394シリーズ」をお使いの場合は、[はい]ボタンをクリックします。

それ以外の場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。

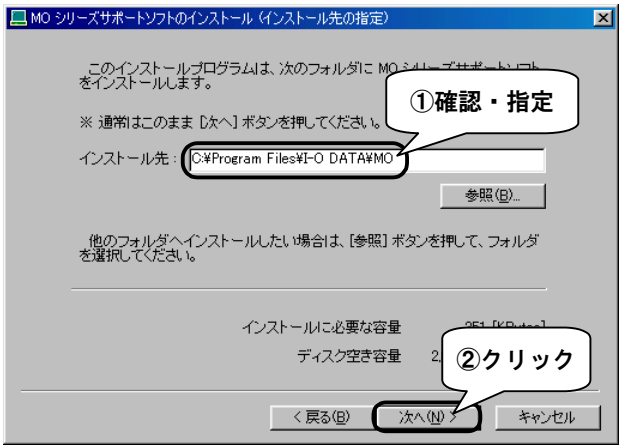


11 ［次へ］ボタンをクリックします。



12 インストールするフォルダ名を指定します。

変更しない場合はそのまま[次へ]ボタンをクリックします。

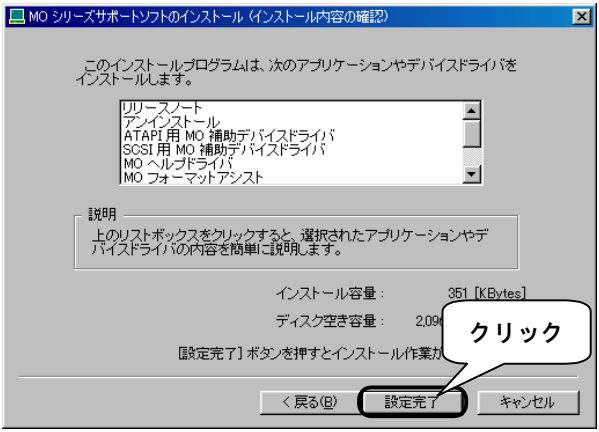


13 手順12で指定したフォルダがない場合は作成します。

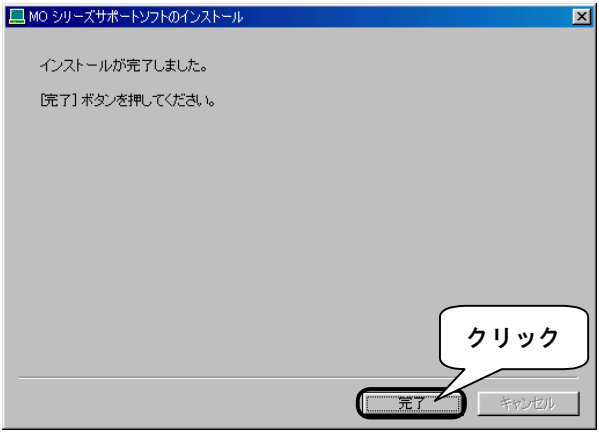
［はい］ボタンをクリックします。



14 ［設定完了］ボタンをクリックします。



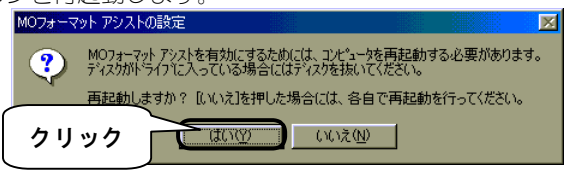
15 ［完了］ボタンをクリックします。



16 「MOシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブから抜きます。

17 ［はい］ボタンをクリックします。

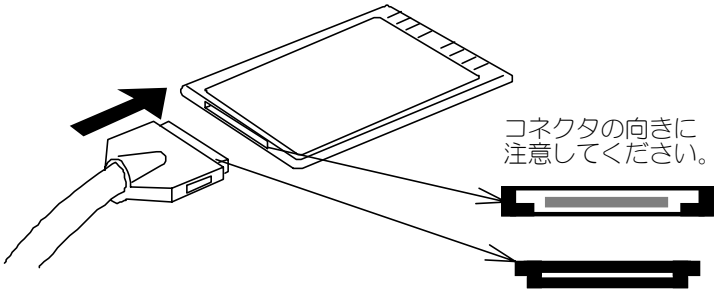
⇒パソコンを再起動します。



3. 本製品を接続しよう

1 PCカード［CBIDEⅡ］にケーブルを接続します。

接続ケーブルの専用コネクタを、「カチッ」と音がするまで差し込み、
軽く引っ張って抜けないことを確認します。

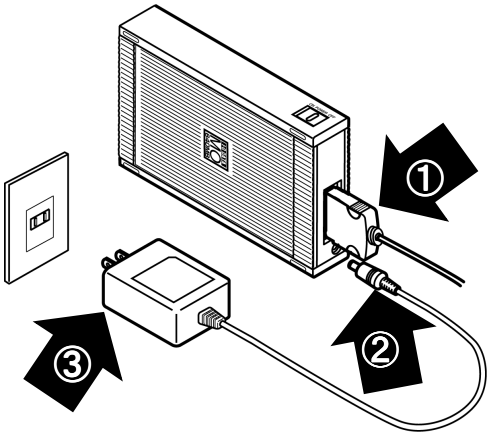


参考

PCカード［CBIDEⅡ］から接続ケーブルを取り外すには？
→接続ケーブルの両側にある「ツメ」を押しながら水平に抜いてください。

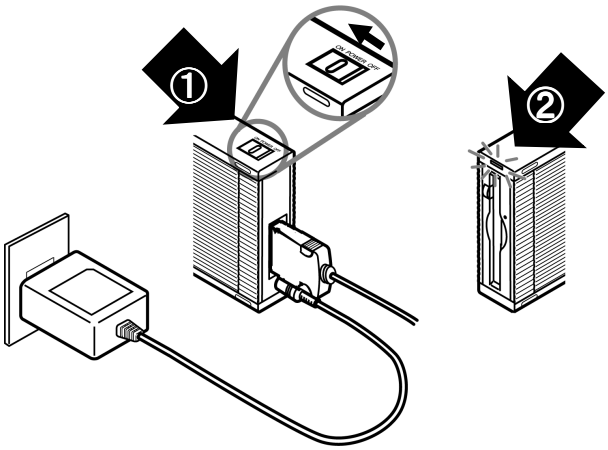
2 MOドライブにケーブル、ACアダプタを接続します。

①接続ケーブルのi･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、MOドライブにまっすぐ差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。
③AC アダプタを電源コンセントに接続します。



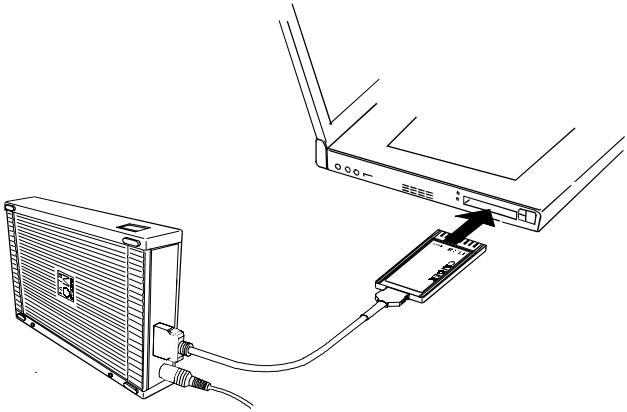
3 MOドライブの電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に入れます。
②電源ランプが点灯するのを確認します。



4 PCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットに接続します。

奥までしっかりと差し込んでください。



参考

はじめて本製品をパソコンに接続した場合は、［新しいハードウェア］画面が表示されます。（しばらくするとウィンドウは消えます）

注意

［新しいハードウェア］画面が表示されたまま消えない
123ページ【困ったときには】をご覧ください。

4. 確認しよう

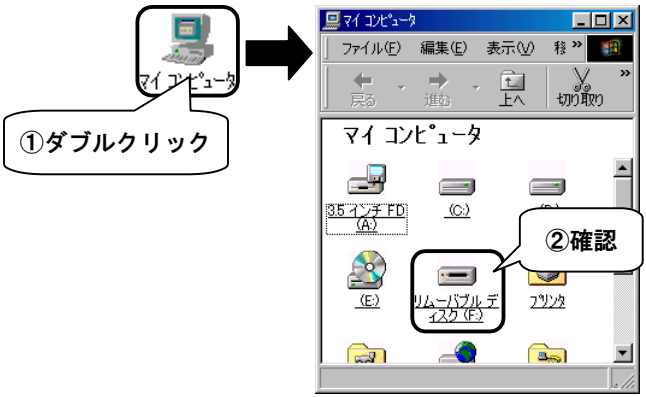
ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

2 本製品のアイコン  を確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中に［リムーバブルディスク］アイコンがあることを確認します。



［リムーバブルディスク］アイコンがない
111ページ【困ったときには】をご覧ください。

複数の［リムーバブルディスク］アイコンがある場合
Windowsでフォーマットされた MOディスクを本製品のみに挿入します。
［リムーバブルディスク］アイコンを順番に開いていき、そのMOディスクの内容が表示されるアイコンが本製品のアイコンです。

3 Windows画面右下にあるリムーバブルツール  をダブルクリックします。

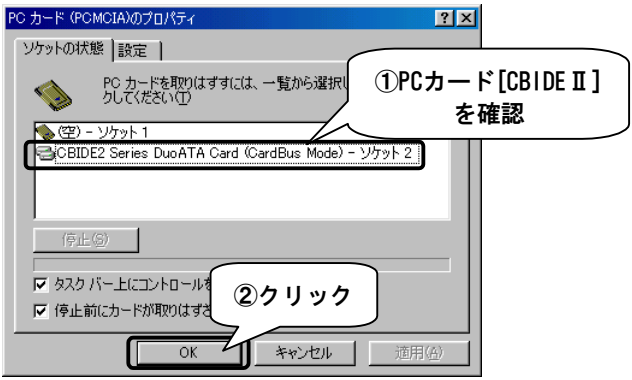


4 PCカード［CBIDEⅡ］を確認して、［OK］ボタンをクリックします。

PC カード［CBIDEⅡ］は、以下のように表示されます。

・CardBus モードの場合 ⇒ CBIDE2 Series DuoATA Card(CardBus Mode)

・16bit モードの場合 ⇒ CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)



以上で本製品は使えるようになりました。

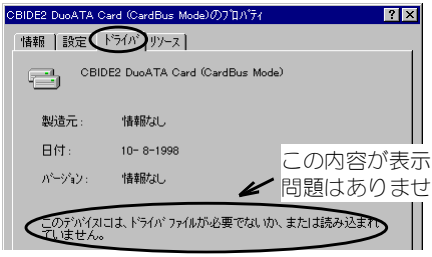
55ページ【基本操作について】にて使用方法をご覧の上、お使いください。

参考

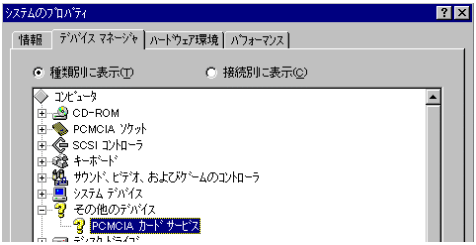
Windows 95 4.00.950 B(OSR2バージョン)以降をお使いの場合

(バージョンの確認方法は、43ページをご覧ください)

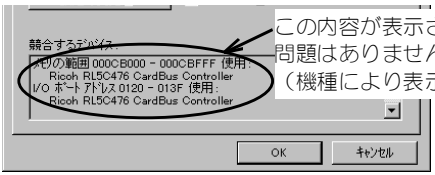
1)本製品のPCカード[CBIDE Ⅱ]が正常に動作していても「デバイスマネージャ」で以下の画面表示となりますが、特に問題ありません。(CardBusモードでお使いの場合)



2)PCカード[CBIDE Ⅱ]が正常に認識されると、[システムのプロパティ]画面の[その他のデバイス]の下に「? PCMCIAカードサービス」が追加される場合があります。
これは正常動作している状態ですので、削除しないでください。



3)本製品のPCカード[CBIDE Ⅱ]を「CardBusモード」で使用する場合、[競合するデバイス]欄に「CardBus Controller」が表示されますが、問題ありません。



基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品をパソコンに接続する	本ページ
本製品をパソコンから取り外す	56ページ
MOディスクの操作	58ページ

本製品をパソコンに接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

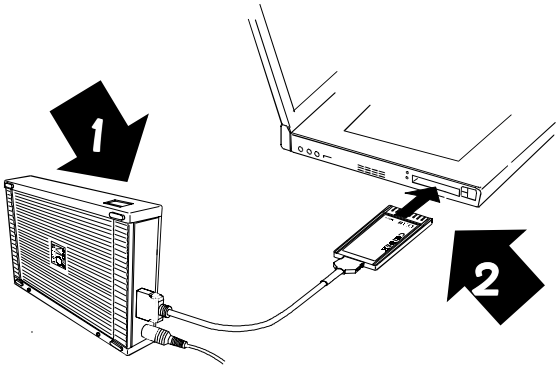
パソコンの電源が切れているときに本製品を接続する際は、本製品にMOディスクを入れた状態でパソコンを起動しないでください。

1 本製品の電源を入れます。

パソコンに接続する前に必ず本製品の電源を入れてください。

2 本製品と接続したPCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットに接続します。

奥までしっかりと差し込んでください。



本製品をパソコンから取り外す

操作	
●パソコンの電源を切って取り外す	本ページ
●パソコンの電源を切らずに取り外す	57ページ

●パソコンの電源を切って取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。

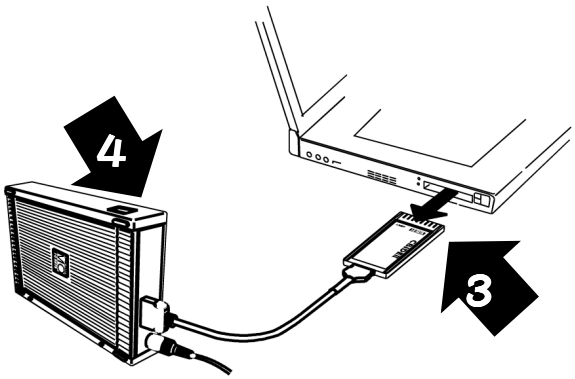
操作は、【●MOディスクを取り出す】(59ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

[スタート]→[Windows の終了]を順にクリックし、表示された画面で[電源を切れる状態にする]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

3 本製品と接続したPCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。



●パソコンの電源を切らずに取り外す

1 **本製品からMOディスクを取り出します。**
操作は、【●MOディスクを取り出す】(59ページ)をご覧ください。

2 **Windows画面右下にあるリムーバブルツール をクリックします。**

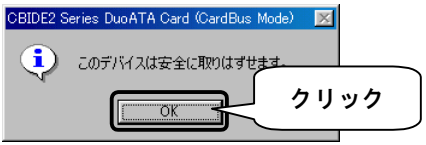


3 **表示された［‥‥の中止］をクリックします。**



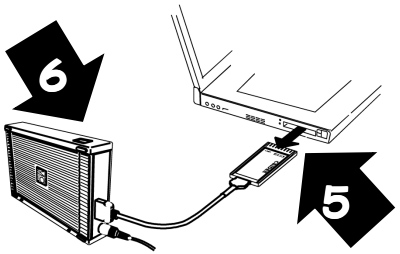
「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
①使用中のソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示される場合は、前ページの【●パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

4 **［OK］ボタンをクリックします。**



5 **本製品と接続したPCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットから取り外します。**

6 **本製品の電源を切ります。**



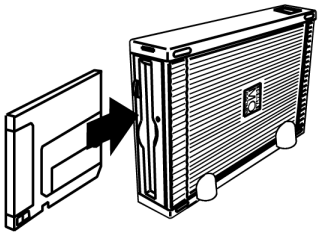
MOディスクの操作

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	59ページ
●MOディスクをフォーマットする	60ページ

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

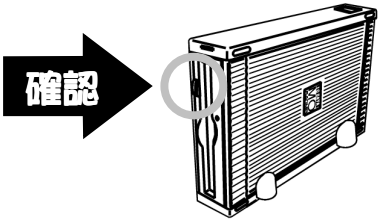
MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



注意

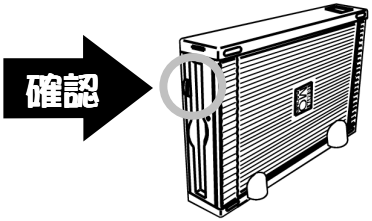
MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。



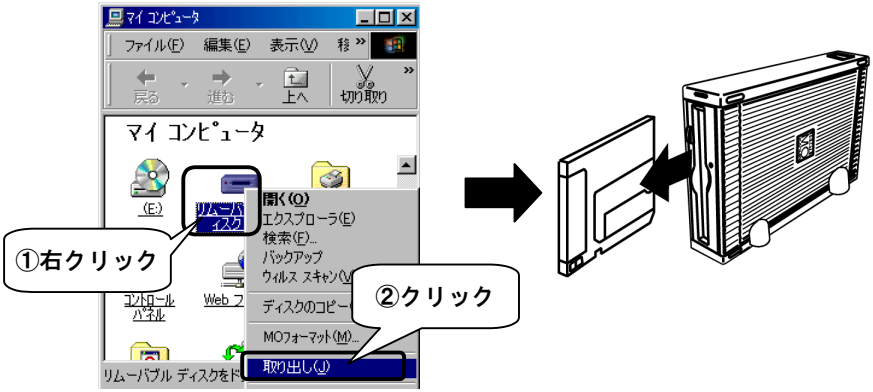
●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。



2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

［マイコンピュータ］をダブルクリックし、本製品のアイコンを右クリックして表示されたメニューの［取り出し］をクリックします。
⇒自動的にMOディスクが出てきます。



注意

MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(112ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

Mac OSとデータを交換するためのフォーマットについて
137ページ【WindowとMac OSでデータ交換しよう】をご覧ください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただし、SCSI MOドライブか、Windows 2000の「MOディスクフォーマッタ」にて、そのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。

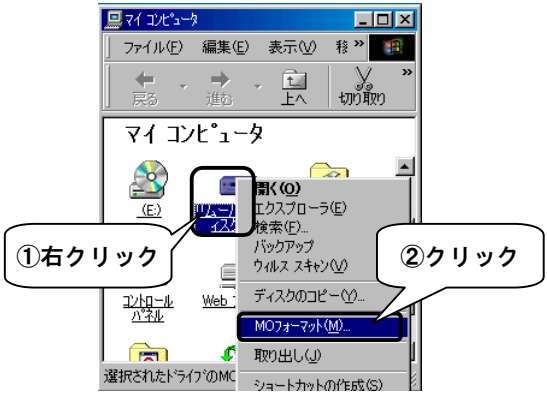
1 本製品にMOディスクを挿入します。

操作は、58ページ【●MOディスクを挿入する】をご覧ください。

いきなり手順*3*の画面になることがあります。
その場合は、手順3にお進みください。

2 [MOフォーマット]を起動します。

[マイコンピュータ]内の[リムーバブルディスク]アイコンを右クリックし、表示された[MOフォーマット]をクリックします。

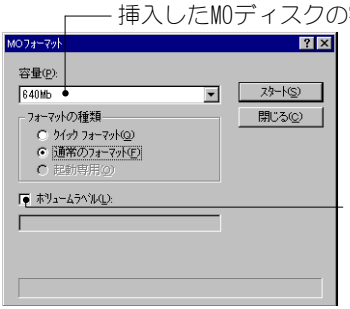


[MOフォーマット]が表示されない
【「MOフォーマット」が表示されない】(116ページ)をご覧ください。

[MOフォーマット]と[フォーマット]が同時に表示される場合
問題無くお使いいただけます。[MOフォーマット]をクリックしてください。
[フォーマット]では、フォーマットしないでください。

3 設定を選び、[スタート]ボタンをクリックします。

MOディスクに保存されているファイルは、すべて消去されます。



・クイックフォーマット（通常のフォーマットより早い）
一度フォーマットしたことのあるMOディスクの場合に選択します。
MOディスクが損傷している可能性がある場合は、クイック
フォーマットを選択しないでください。

・通常のフォーマット
購入直後のMOディスクなどをフォーマットする時に選択します。

・起動専用（本製品では、MOディスクから起動できません。）
フォーマット済みのMOディスクにシステムファイルをコピーします。
MOディスクに保存されているファイルは消去されません。
また、640M/1.3GバイトのMOディスクには使用できません。

4 フォーマット後、［閉じる］ボタンをクリックします。

フォーマットが終了すると、MOディスクが自動的に取り出され、フォーマット結果が表示されます。

確認後、［閉じる］をクリックしてください。

5 ［閉じる］ボタンをクリックします。



フォーマット後は
フォーマット後のMOディスクは一度「スキャンディスク」をかけることをお勧めします。

Memo

Windows NT 4.0でお使いの場合

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・６４



本製品と同梱のPCカード［CBIDEⅡ］をはじめて接続する際の手順について説明します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・７４

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

本製品とPCカード［CBIDEⅡ］をはじめて接続する際の手順について説明します。
以下の手順にしたがい、お進みください。

手順	
1. PCカード［CBIDEⅡ］のモード設定	本ページ
2. 本製品を接続しよう	65ページ
3. ソフトウェアのインストール	67ページ
4. 確認しよう	72ページ

はじめに、以下のものをご用意ください。

用意するもの
- **本製品（MOドライブ）**
- **PCカード［CBIDEII］**
- **ACアダプタ**
- **接続ケーブル**
- **CBIDEIIシリーズサポートソフト（FD）**
- **MOシリーズサポートソフト（FD）**
- **Windows NT 4.0インストール済みのパソコン**

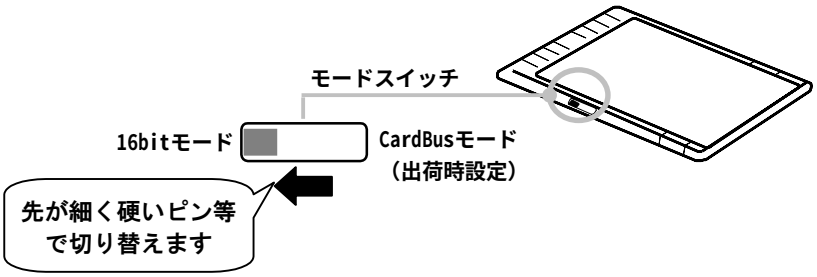
（対応機種につきましては、4ページでご確認ください。）

1. PCカード［CBIDEⅡ］のモード設定

1 PCカード［CBIDEⅡ］のモードを切り替えます。

出荷時は「CardBusモード」に設定されていますので、「16bitモード」に切り替えてご使用ください。

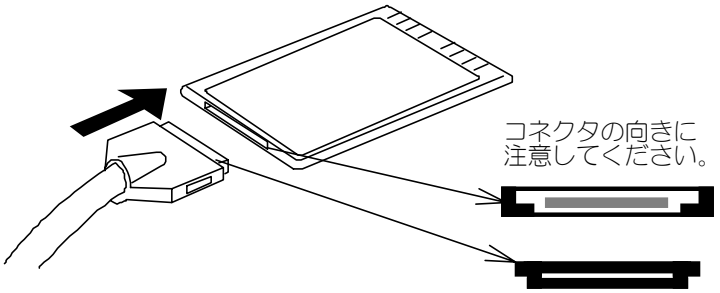
※本製品をWindows NT 4.0でご使用の場合、PCカード［CBIDEⅡ］は「16bitモード」のみ使用可能です。



2. 本製品を接続しよう

1 PCカード［CBIDEⅡ］にケーブルを接続します。

接続ケーブルの専用コネクタを、「カチッ」と音がするまで差し込み、
軽く引っ張って抜けないことを確認します。

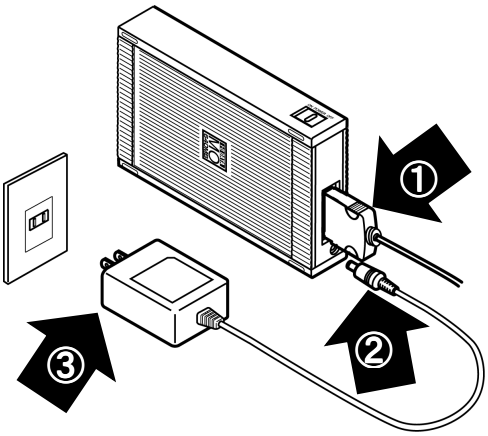


参考

PCカード［CBIDEⅡ］から接続ケーブルを取り外すには？
→接続ケーブルの両側にある「ツメ」を押しながら水平に抜いてください。

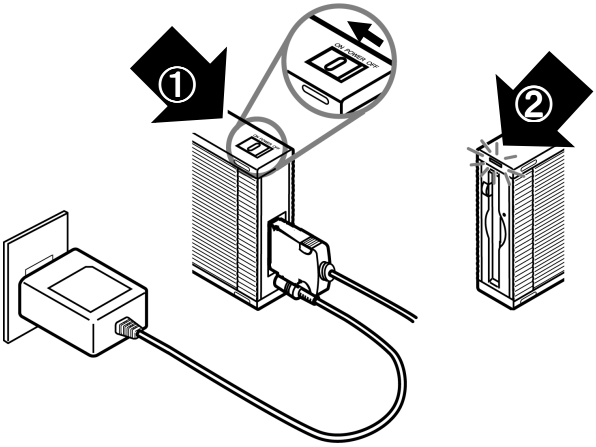
2 MOドライブにケーブル、ACアダプタを接続します。

①接続ケーブルのi･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、MOドライブにまっすぐ差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。
③AC アダプタを電源コンセントに接続します。



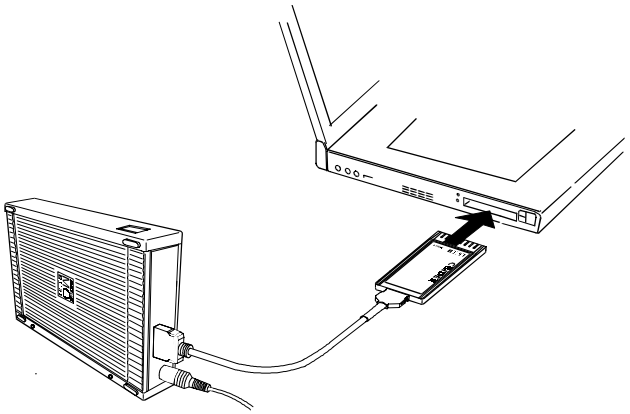
3 MOドライブの電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に入れます。
②電源ランプが点灯するのを確認します。



4 PCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットに接続します。

奥までしっかりと差し込んでください。



3. ソフトウェアのインストール

本製品を使用するために必要な以下のソフトウェアを順にインストールします。

・CBIDEⅡシリーズサポートソフト

・MOシリーズサポートソフト

必ず本書の手順に従ってインストールしてください。

・すでに弊社製MOドライブをお使いの方は
すでに弊社製MOドライブ（MOP-230を除く）をお使いの場合は、サポートソフト（MOFシリーズ、MOF/MOAシリーズ、MOシリーズ）を削除してください。サポートソフトを削除しても、本製品のサポートソフトのインストールが終われば、問題なくお使いいただけます。MOドライブのサポートソフトの削除方法につきましては、各取扱説明書をご覧ください。

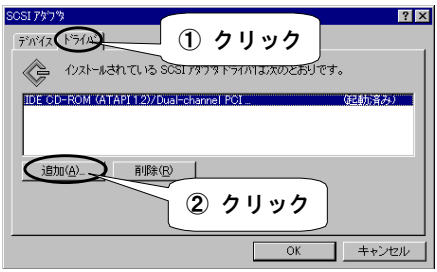
1 本製品の電源を入れてからパソコンの電源を入れます。

Windows NT 4.0にAdministrator権限でログオンします。

2 [SCSIアダプタ] アイコンをダブルクリックします。

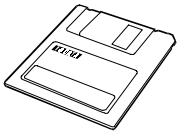
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にクリックして、［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

3 ［ドライバ］タブ内にある［追加］ボタンをクリックします。

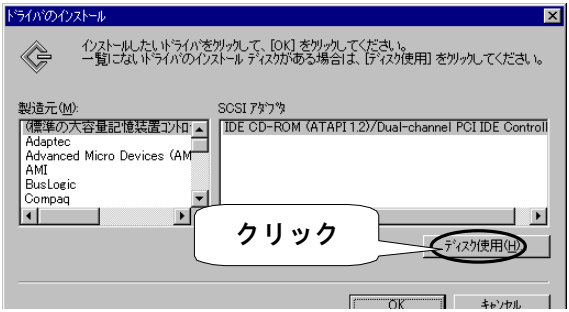


［追加］ボタンをクリックできない
インストールの際は、必ずAdministrator権限でログインしてください。

4 **「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を フロッピーディスクドライブに挿入します。**

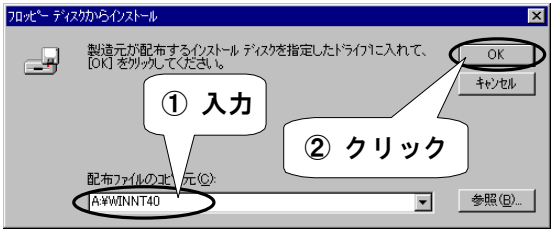


5 **［ディスク使用］ボタンをクリックします。**



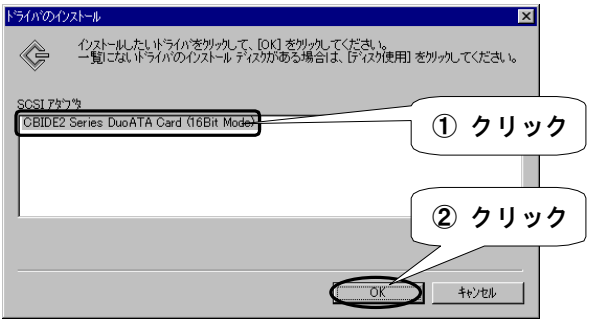
6 **「WINNT40」フォルダを入力します。**

［配布ファイルのコピー元］欄に「A:¥WINNT40」（フロッピーディスクドライブがAの場合）と入力し、［OK］ボタンをクリックします。



7 **本製品を選択します。**

［CBIDE2 Series DuoATA Card(16bit Mode)］をクリックし、［OK］ボタンをクリックします。

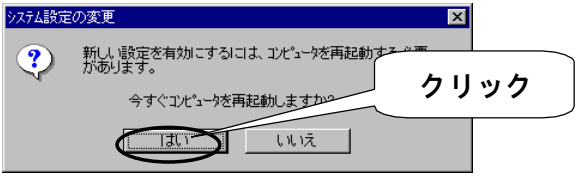


8 **「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブから抜きます。**

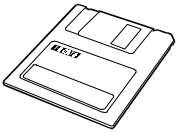
9 **［はい］ボタンをクリックします。**

⇒パソコンが再起動されます。

引き続き必要なソフトウェアのインストールを行います。

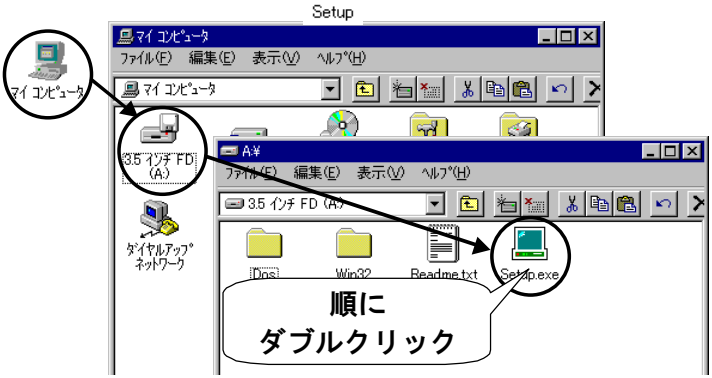


10 **再起動後、「MOシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。**

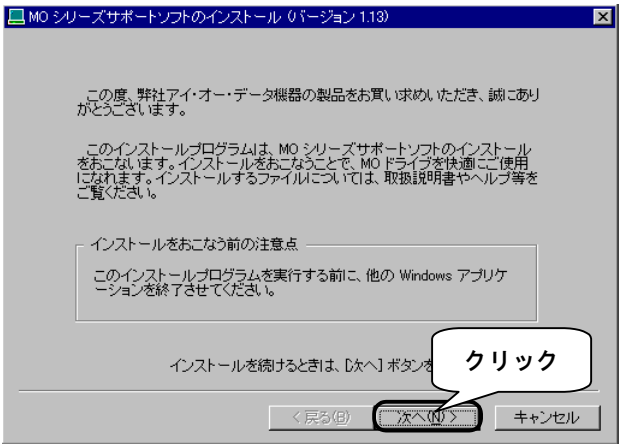


11 **［SETUP］を起動します。**

［マイコンピュータ］→［3.5インチFD］→［Setup］（または［Setup.exe］）アイコン  の順にダブルクリックします。

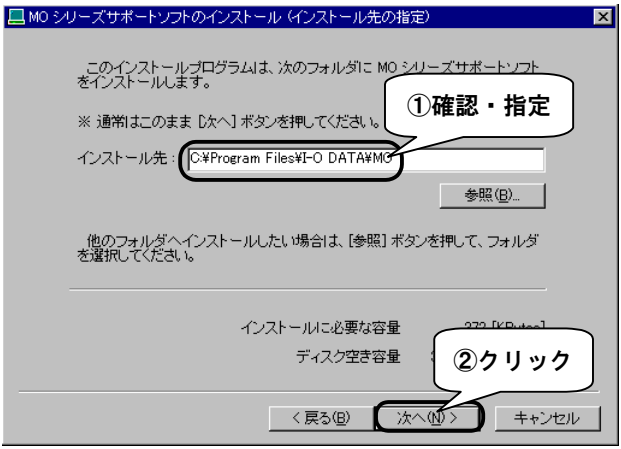


12 ［次へ］ボタンをクリックします。



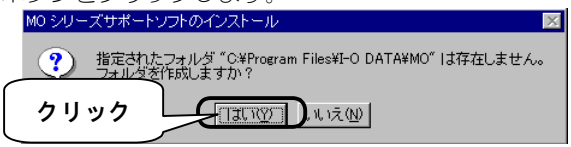
13 インストールするフォルダ名を指定します。

変更しない場合はそのまま[次へ]ボタンをクリックします。

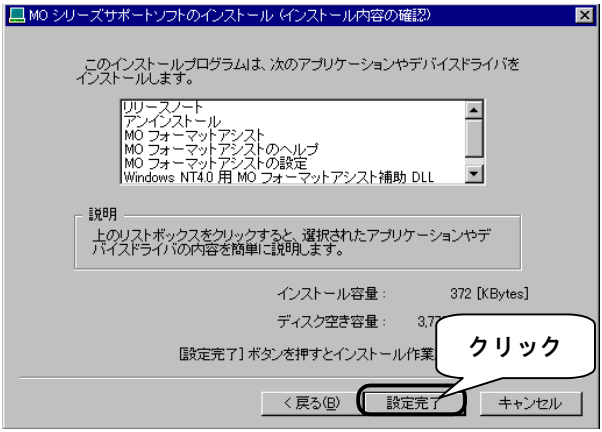


14 手順13で指定したフォルダがない場合は作成します。

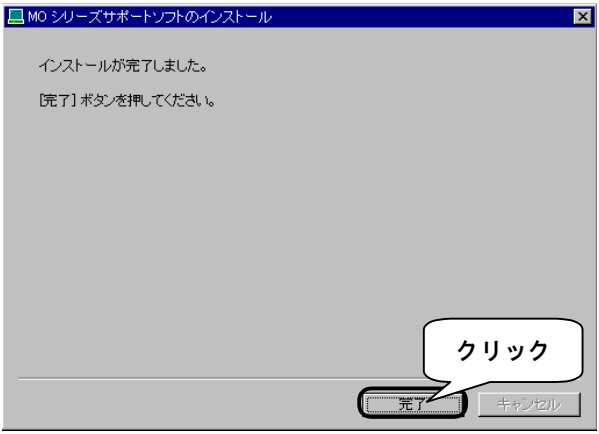
［はい］ボタンをクリックします。



15 **［設定完了］ボタンをクリックします。**



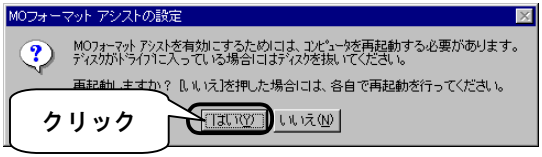
16 **［完了］ボタンをクリックします。**



17 **「MOシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブから抜きます。**

18 **［はい］ボタンをクリックします。**

⇒パソコンが再起動されます。



4. 確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

1 「SCSIアダプタ」を開きます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にクリックし、［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

2 ［デバイス］タブをクリックして、PCカード［CBIDEⅡ］が正常に認識されていることを確認します。

「CBIDE2 Series DuoATA Card(16bit Mode)」と表示されていることを確認します。

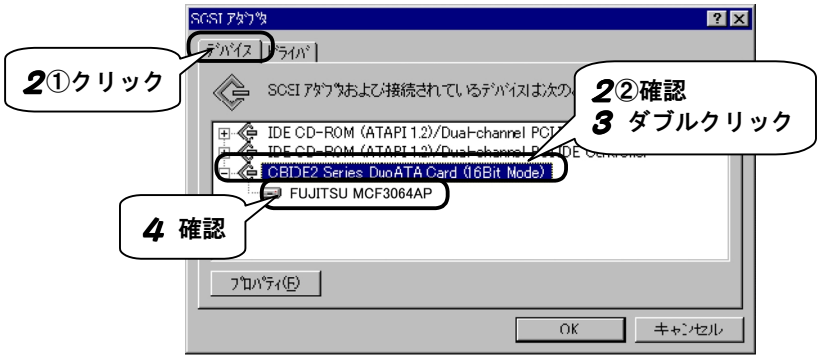
注意

表示されていない
次ページ【RESEDITについて】をご覧ください。

3 「CBIDE2 Series DuoATA Card(16bit Mode)」をダブルクリックします。

4 本製品があることを確認します。

MOA-AX1300W の場合　→　「FUJITSU MCE3130AP」
MOA-AX640SW の場合　→　「FUJITSU MCF3064AP」



注意

表示されていない
次ページ【RESEDITについて】をご覧ください。

以上で本製品は使えるようになりました。
74ページ【基本操作について】にて使用方法をご覧の上、お使いください。



RESEDITについて

「RESEDIT」は、非PnPのWindows NT 4.0において、万が一リソースの競合が発生した場合にそれを回避するユーティリティです。

→前ページ【4.確認しよう】で問題が発見された場合は、リソースの競合が考えられます。「RESEDIT」を使ってリソースを変更してください。



「RESEDIT」使用時の注意事項

- Windows NT 4.0にAdministrator権限でログオンしてください。「RESEDIT」による変更の結果は、他の権限でログオンし直した場合にも反映されます。
- PCカード［CBIDEII］をパソコンに挿入した状態で「RESEDIT」を起動してください。PCカード［CBIDEII］を挿入していないと、リソースの設定欄に値が表示されません。



Windows NT 4.0上でPCカード［CBIDEII］に割り当てられたリソースの値を確認する方法は、以下の4通りあります。

1.ここで説明する「RESEDIT」
2.[プログラム]→[管理ツール(共通)]→[Windows NT 診断プログラム]→[リソース]タブ
3.[コントロールパネル]→[SCSIアダプタ]→[プロパティ]→[リソース]タブ
4.[コントロールパネル]→[PCカード]→[プロパティ]→[リソース]タブ

※上記3.4.で表示される値は実際と異なる場合があります。
1.2.の方法で確認することをお勧めします。

起動方法

①「CBIDEIIサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。
②[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[WINNT40]→[Resedit]（または[Resedit.exe]）を順にダブルクリックして起動します。

使用方法

①[リソース]タブをクリックします。
②[自動設定]のチェックを外します。
③[設定の変更]ボタンをクリックします。
④[リソースの変更]画面が表示されますので、
[▼]ボタンをクリックし、[IRQ]と[I/Oポートアドレス]の値を変更します。
⑤[OK]ボタンをクリックします。
⑥設定保存の確認の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。
⑦再起動の確認の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

※空きリソースはパソコン本体により異なります。空きリソースの詳細については、パソコンメーカーにお問い合わせください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品をパソコンに接続する	本ページ
本製品をパソコンから取り外す	75ページ
MOディスクの操作	76ページ

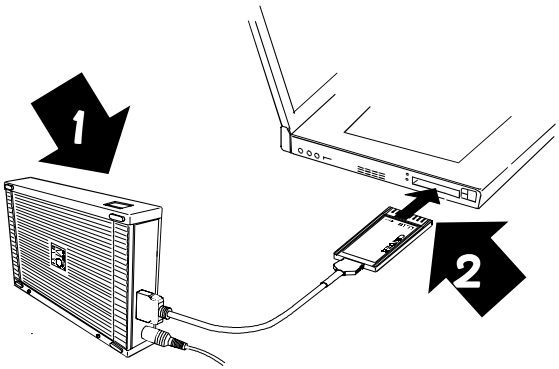
本製品をパソコンに接続する

1 本製品の電源を入れます。

パソコンに接続する前に必ず本製品の電源を入れてください。

2 本製品と接続したPCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットに接続します。

奥までしっかりと差し込んでください。



本製品をパソコンから取り外す

パソコンの電源が入っていると、本製品を取り外せません！
Windows NT 4.0起動中は本製品を取り外すことはできません。
必ず下記の手順で取り外してください。

1 本製品からMOディスクを取り出します。

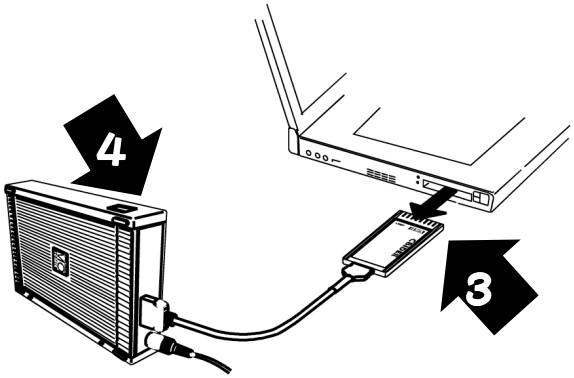
操作は、【●MOディスクを取り出す】(77ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

[スタート]→[シャットダウン]を順にクリックし、表示された画面で[コンピュータをシャットダウンする]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

3 本製品と接続したPCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。



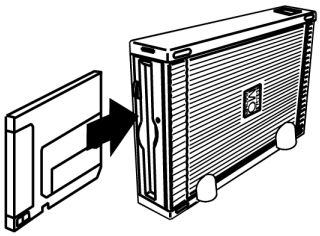
MOディスクの操作

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	77ページ
●MOディスクをフォーマットする	78ページ
●《補足》MOディスクの交換について	80ページ

●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。

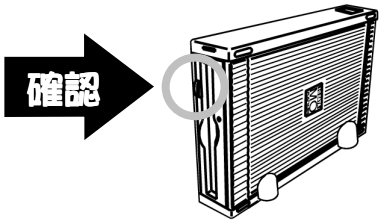
MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



注意

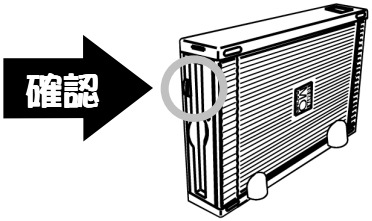
MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。



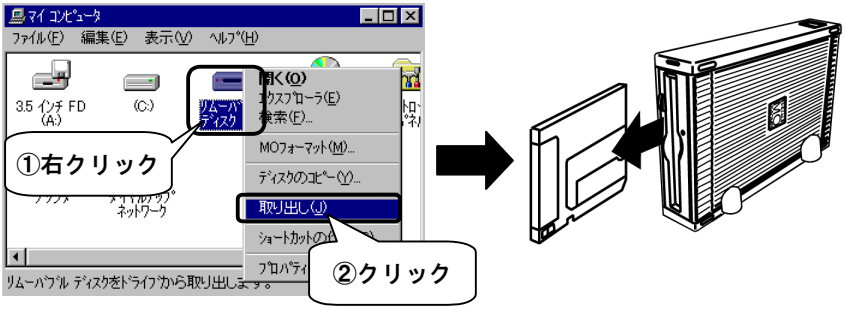
●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。



2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

［マイコンピュータ］をダブルクリックし、本製品のアイコンを右クリックして表示されたメニューの［取り出し］をクリックします。
⇒自動的にMOディスクが出てきます。



MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(112ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

「MOシリーズサポートソフト」をインストールする前に、Windows上の[エクスプローラ]や[マイコンピュータ]の[フォーマット]でのフォーマットは行わないでください。

Windows NT 4.0にAdministrator権限以外でログオンしている場合は、フォーマットを行わないでください。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

操作は、76ページ【●MOディスクを挿入する】をご覧ください。

2 [MOフォーマット]を起動します。

［マイコンピュータ］内の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示された［MOフォーマット］をクリックします。

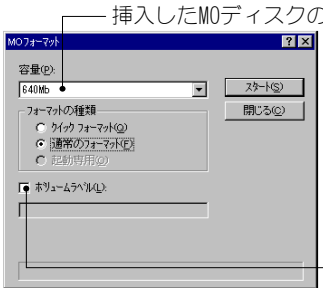


[MOフォーマット]が表示されない
【「MOフォーマット」が表示されない】(116ページ)をご覧ください。

[MOフォーマット]と［フォーマット］が同時に表示される場合
問題無くお使いいただけます。［MOフォーマット］をクリックしてください。
［フォーマット］では、フォーマットしないでください。

3 フォーマットの種類を選び、[スタート]ボタンをクリックします。

MOディスクに保存されているファイルは、すべて消去されます。



- **クイックフォーマット（通常のフォーマットより早く終わります）**
  一度フォーマットしたことのあるMOディスクに行えます。
  MOディスクが損傷している可能性がある場合は、この種類ではフォーマットを行わないでください。
- **通常のフォーマット**
  購入直後のMOディスクなどをフォーマットする時に使います。
- **起動専用**（本製品では、MOディスクから起動できません。）
  フォーマット済みのMOディスクにシステムファイルをコピーします。
  MOディスクに保存されているファイルは消去されません。
  また、640M/1.3GバイトのMOディスクは使用できません。

4 フォーマット後、［閉じる］ボタンをクリックします。

フォーマットが終了すると、MOディスクが自動的に取り出され、フォーマット結果が表示されます。

確認後、［閉じる］をクリックしてください。

5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

参考

フォーマット後は
フォーマット後のMOディスクは一度「スキャンディスク」をかけることをお勧めします。

●《補足》MOディスクの交換について

Windows NT 4.0上でMOディスクを交換した場合、システムが認識できず、交換後のMOディスクの情報が正しく表示されない場合があります。
ここでは、システムにMOディスクを再認識させる方法を説明します。

以下の場合は、ここで説明する方法を行ってもMOディスクの交換が正しく認識されない場合があります。その際は、Windowsを再起動してください。

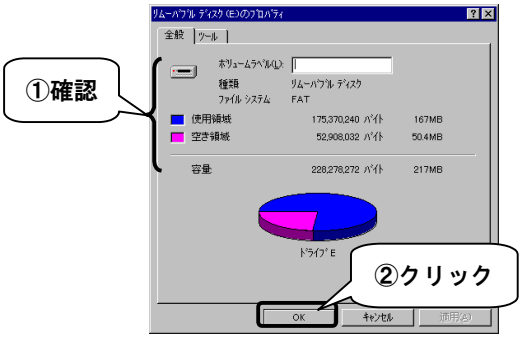
- **DOS/VマシンでWindows NT 4.0 ServicePack 3以降を使用している環境で、1.3G/640Mバイト以外（128/230/540Mバイト）のMOディスクと、1.3G/640MバイトのMOディスクを交換した場合**

1 ［プロパティ］画面を開きます。

［マイコンピュータ］内の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示されるメニューの［プロパティ］をクリックします。

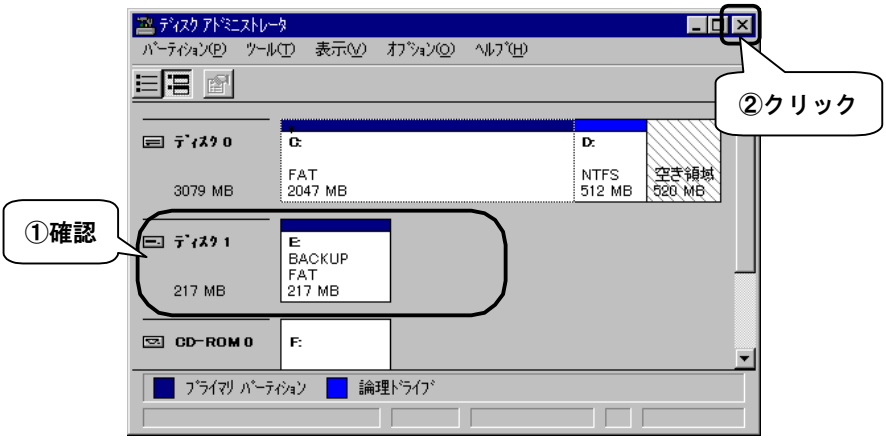
2 「容量」などが正しく表示されていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。

表示が正しい場合：これで正常に再認識されました。
表示が正しくない場合：手順 **3** へお進みください。



3 ［ディスクアドミニストレータ］で確認して、画面右上の×をクリックします。

［スタート］→［管理ツール］→［ディスクアドミニストレータ］を順にクリックして、正しく表示されていることを確認します。



4 MOディスクの交換が認識されていることを確認します。

まだMOディスクの交換が正しく認識されていない場合は、Windowsを再起動してください。

Memo

Windows 3.1、MS-DOSでお使いの場合

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・８４

本製品と同梱のPCカード［CBIDEⅡ］をはじめて接続する際の手順について説明します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・９１

本製品を使う上での操作について説明します。

補足 ・・・・・・・・・・・・・・・９７

必要に応じてご覧ください。

使えるようにしよう

本製品とPCカード［CBIDEⅡ］をはじめて接続する際の手順について説明します。
以下の手順にしたがい、お進みください。

手順	
1. PCカード［CBIDEⅡ］のモード設定	本ページ
2. 本製品を接続しよう	85ページ
3. ソフトウェアのインストール	87ページ
4. 確認しよう	90ページ

はじめに、以下のものをご用意ください。

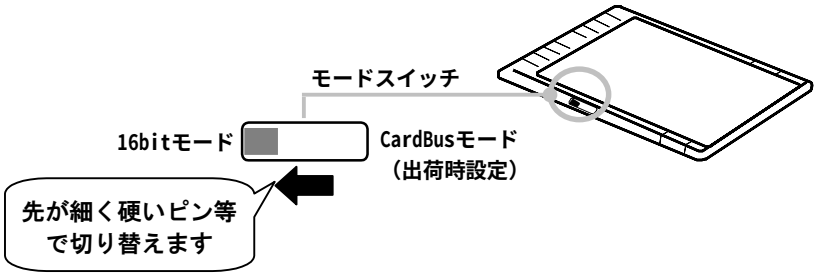
用意するもの
- **本製品（MOドライブ）**
- **PCカード［CBIDEII］**
- **ACアダプタ**
- **接続ケーブル**
- **CBIDEIIシリーズサポートソフト（FD）**
- **MOシリーズサポートソフト（FD）**
- **Windows 3.1またはMS-DOSインストール済みのパソコン**
  （対応機種につきましては、4ページでご確認ください。）

1. PCカード［CBIDEⅡ］のモード設定

1 PCカード［CBIDEⅡ］のモードを切り替えます。

出荷時は「CardBusモード」に設定されていますので、「16bitモード」に切り替えてご使用ください。

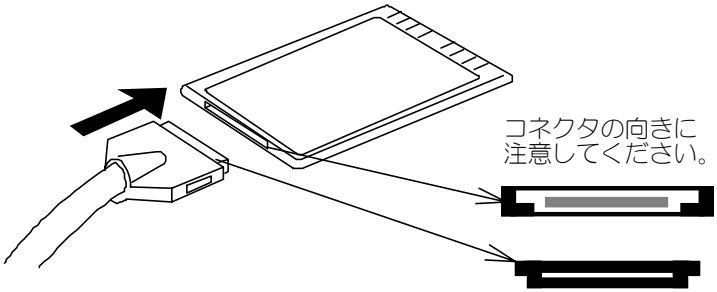
※本製品をWindows 3.1またはMS-DOSでご使用の場合、PCカード［CBIDEⅡ］は「16bitモード」のみ使用可能です。



2. 本製品を接続しよう

1 PCカード［CBIDEⅡ］にケーブルを接続します。

接続ケーブルの専用コネクタを、「カチッ」と音がするまで差し込み、
軽く引っ張って抜けないことを確認します。

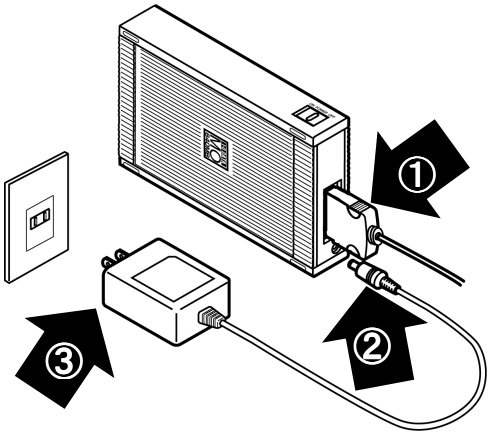


参考

PCカード［CBIDEⅡ］から接続ケーブルを取り外すには？
→接続ケーブルの両側にある「ツメ」を押しながら水平に抜いてください。

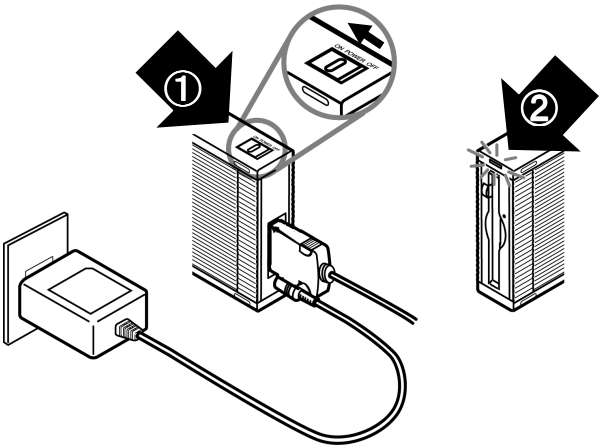
2 MOドライブにケーブル、ACアダプタを接続します。

①接続ケーブルのi･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、MOドライブにまっすぐ差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
②MOドライブに、添付のACアダプタを接続します。
③AC アダプタを電源コンセントに接続します。



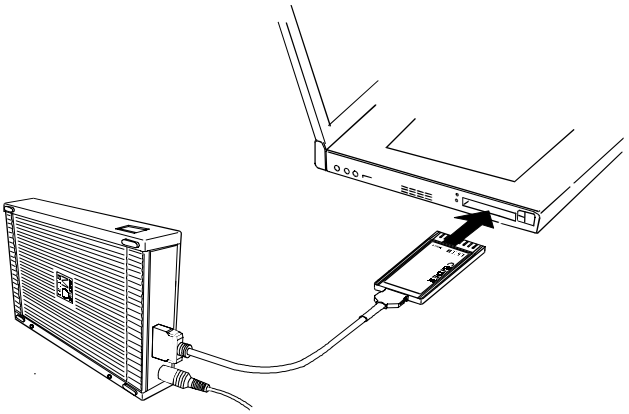
3 MOドライブの電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に入れます。
②電源ランプが点灯するのを確認します。



4 PCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットに接続します。

奥までしっかりと差し込んでください。



3. ソフトウェアのインストール

本製品を使用するために必要な以下のソフトウェアを順にインストールします。

・CBIDEⅡシリーズサポートソフト

・MOシリーズサポートソフト

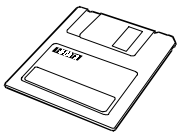
必ず本書の手順に従ってインストールしてください。

1 本製品の電源を入れてからパソコンの電源を入れます。

MS-DOSを起動します。

※Windows 3.1の「MS-DOSプロンプト」ではインストールできません。
Windows 3.1が起動した場合は、終了してください。

2 「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」を フロッピーディスクドライブに挿入します。



3 インストーラを起動します。

以下のように入力して、［Enter］キーを押します。

A:¥INSTALL

（フロッピーディスクドライブがAドライブの場合の例）

4 ［Enter］キーを押します。

カードサービスに関するエラーが表示される場合は
【カードサービスに関するエラーが表示される】(125ページ)をご覧ください。

5 ［Enter］キーを押します。

6 インストール先を入力して、［Enter］キーを押します。

通常はそのまま［Enter］キーを押します。

7 MS-DOSが起動するドライブを確認して、［Enter］キーを押します。

8 各項目を設定して、［Enter］キーを押します。

［MOP-230やHDPシリーズを］、［CDPシリーズ］は［使用しない］に設定してください。

9 **環境ファイル（CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BAT）を書き換えます。**

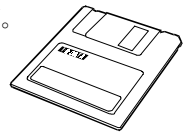
通常は［Y］キーを押します。

［N］キーを押した場合、環境ファイルは変わりません。その場合は、エディタ等で編集してください。
→【補足】（97ページ）に編集例があります。ご参照ください。

10 **「CBIDEⅡシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブから抜きます。**

11 **パソコンを再起動します。**

引き続き必要なソフトウェアのインストールを行います。



12 **「MOシリーズサポートソフト」を**
フロッピーディスクドライブに挿入します。

13 **インストーラを起動します。**

以下のように入力して、［Enter］キーを押します。

A:¥DOS¥INSTALL

（フロッピーディスクドライブがAドライブの場合の例）

14 **［Enter］キーを押します。**

15 **［Enter］キーを押します。**

16 **インストール先を入力して、［Enter］キーを押します。**

通常はそのまま［Enter］キーを押します。

17 **［Y］キーを押します。**

18 **［Enter］キーを押します。**

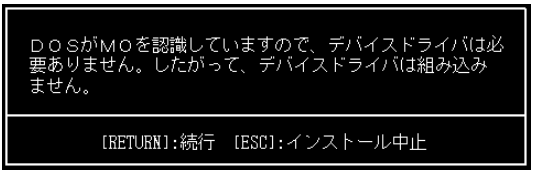
19 **［Enter］キーを押します。**

20 接続状況により、以下の2通りの画面が表示されます。

《画面１》の場合

そのまま［Enter］キーを押します。

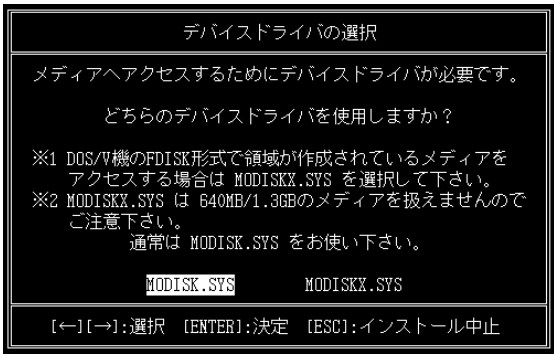
《画面１》



《画面２》の場合

DOS/Vマシンで複数パーティションに区切られたMOディスクをお使いの場合は[MODISKX.SYS]を、その他の場合は[MODISK.SYS]を選んで、［Enter］キーを押します。

《画面２》



21 起動ドライブ名を確認して、［Enter］キーを押します。

起動ドライブ名（環境ファイルがあるドライブ）を確認します。

22 ［はい］を選び、［Enter］キーを押します。

23 「MOシリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブから抜きます。

24 パソコンを再起動します。

4. 確認しよう

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。



本製品にMOディスクを入れない状態で確認してください。

●Windows 3.1の場合

［ファイルマネージャ］で該当するドライブが表示されることを確認します。

●MS-DOSの場合

以下のように入力し、［Enter］キーを押します。
接続状態とドライブ名が表示されますので、確認します。
確認後、［Esc］キーを押して終了します。

通常　MOUTL L

PC-9821シリーズ　MOUTL L /ASPI



以上で本製品は使えるようになりました。
次ページ【基本操作について】にて使用方法をご覧の上、お使いください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
本製品をパソコンに接続する	本ページ
本製品をパソコンから取り外す	92ページ
MOディスクの操作	93ページ

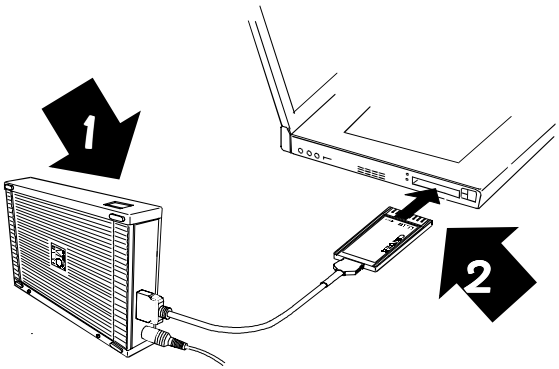
本製品をパソコンに接続する

1 本製品の電源を入れます。

パソコンに接続する前に必ず本製品の電源を入れてください。

2 本製品と接続したPCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットに接続します。

奥までしっかりと差し込んでください。



本製品をパソコンから取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。

操作は、【●MOディスクを取り出す】(94ページ)をご覧ください。

2 パソコンの電源を切ります。

Windows 3.1の場合

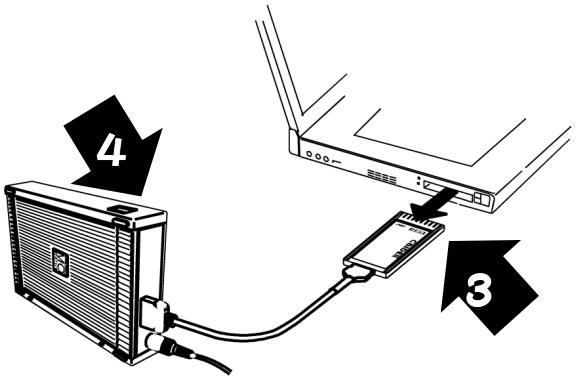
[スタート]→[Windowsの終了]を順にクリックし、表示された画面で[電源を切れる状態にする]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

MS-DOSの場合

アプリケーションを全て終了した後、パソコンの電源スイッチをOFFにします。

3 本製品と接続したPCカード［CBIDEⅡ］をパソコンのPCカードスロットから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。



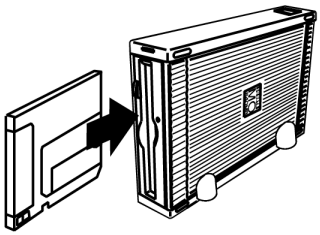
MOディスクの操作

操作	
●MOディスクを挿入する	本ページ
●MOディスクを取り出す	94ページ
●MOディスクをフォーマットする	95ページ

●MOディスクを挿入する

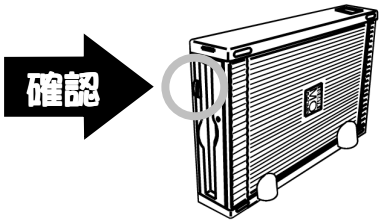
1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。



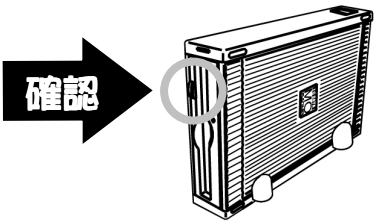
MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。



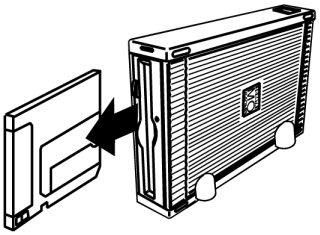
●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。



2 イジェクトボタンを押します。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



注意

MOディスクを取り出せない

【MOディスクを取り出せない】(112ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

1 本製品の電源を入れてからパソコンの電源を入れます。

MS-DOSを起動します。

※Windows 3.1の「MS-DOSプロンプト」では動作できません。
Windows 3.1が起動した場合は、終了してください。

2 「MOUTL」を起動します。

以下のように入力して、［Enter］キーを押します。

通常　　MOUTL L

PC-9821シリーズ　　MOUTL L /ASPI

3 本製品を選び、［Enter］キーを押します。

接続しているMOドライブが表示されますので、［↑］［↓］キーで対象の本製品を選び、［Enter］キーを押します。

4 本製品にMOディスクを挿入します。

操作は、93ページ【●MOディスクを挿入する】をご覧ください。

5 ［↑］［↓］キーで［フォーマット］を選び、［Enter］キーを押します。

6 ［↑］［↓］［→］［←］キーで項目を選びます。

- **物理フォーマット**：通常は[しない]を選びます。
- **論理フォーマット**：通常は[IBMフォーマット]を選びます。
- **システム転送**　：PC-9821シリーズのみ可能です。起動MOディスクを作るときに[する]を選びます※。640Mバイト,1.3Gバイトのディスクに対しては行えません。
- **ボリュームラベル**：ラベル名を指定したいときに入力します。



※ただし、本製品を使って起動用MOディスクからパソコンを起動することはできません。

7 ［実行］にカーソルを合わせ、［Enter］キーを押します。

フォーマットを開始します。

8 ［Enter］キーを押し、［Esc］キーを何度か押します。

フォーマットが終了するとMOディスクが自動的に排出されますので、
［Enter］キーを何度か押して手順3の画面に戻ります。
DOSプロンプト画面になるまで［Esc］キーを何度か押してください。

補足

補足	
CONFIG.SYSの例	本ページ
ドライバの詳細	99ページ

CONFIG.SYSの例

ここでは、各機種ごとでのPCカードドライバ（ソケットサービス／カードサービス）および各ポータブルシリーズの CONFIG.SYSへの組み込み例を示しています。必要に応じてご覧ください。



・占有メモリについて
本製品はカード属性情報（タプル）を持っています。この情報を読み出すために使用するメモリ空間はUMBやEMSとして設定されないようにする必要があります。
そのため、CONFIG.SYSファイルの EMM386.EXE等のメモリマネージャの行にオプションを指定します。
・CONFIG.SYSの例では、“O”は「ｵｰ」、“0”は「ｾﾞﾛ」となります。
・マルチコンフィグ機能を使用している場合は、CONFIG.SYSに設定されたSCSIデバイス用の記述を[COMMON]領域(または各環境領域)に移動してください。

■DOS/Vマシン

●Phoenix社の場合(olibetti ECHOS24C)

```
DEVICE=C:¥DOS¥EMM386.EXE X=C800-C8FF X=C900-CCFF
                                                    (メモリマネージャ)
（弊社 VMM386.EXE の場合　C:¥MDEV¥IOSPRO¥VMM386.EXE /ROM=C8-CC）
DEVICE=C:¥PCMPLUS¥CNFIGNAM.EXE /DEFAULT
DEVICE=C:¥PCMPLUS¥PCMSS.EXE                         (ソケットサービス)
DEVICE=C:¥PCMPLUS¥PCMCS.EXE                         (カードサービス)
DEVICE=C:¥PCMPLUS¥PCMSCD.EXE
DEVICE=C:¥CBIDE2¥DUOATA16.SYS /V                    (CBIDEⅡ用ドライバ)
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥ATASPI.EXE  /CBIDE2
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥MODISK.SYS  /ID=00   (MOA-AXシリーズ用ドライバ)
LASTDRIVE = Z
```

●SystemSoft社の場合(COMPAQ CONTURA 400等)

```
DEVICE=C:¥DOS¥EMM386.EXE X=D000-DFFF                (メモリマネージャ)
（弊社 VMM386.EXE の場合　C:¥MDEV¥IOSPRO¥VMM386.EXE /ROM=D0-DF）
DEVICE=C:¥CARDSOFT¥SSVLSI.EXE                       (ソケットサービス)
DEVICE=C:¥CARDSOFT¥PCMSMIX.EXE
DEVICE=C:¥CARDSOFT¥CS.EXE                           (カードサービス)
DEVICE=C:¥CARDSOFT¥CSALLOC.EXE
DEVICE=C:¥CARDSOFT¥CARDID.EXE C:¥CARDSOFT¥CARDID.INI
DEVICE=C:¥CBIDE2¥DUOATA16.SYS /V                    (CBIDEⅡ用ドライバ)
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥ATASPI.EXE  /CBIDE2
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥MODISK.SYS  /ID=00   (MOA-AXシリーズ用ドライバ)
LASTDRIVE = Z
```

●IBM社の場合(ThinkPad 230Cs等)

```
DEVICE=C:¥DOS¥EMM386.EXE X=C800-CFFF （メモリマネージャ）
（弊社 VMM386.EXE の場合　C:¥MDEV¥IOSPRO¥VMM386.EXE /ROM=C8-CF）
DEVICE=C:¥EZGOING¥IBMDSS01.SYS /M                   (ソケットサービス)
DEVICE=C:¥EZGOING¥IBMDOSCS.SYS                      (カードサービス)
DEVICE=C:¥EZGOING¥DICRMU01.SYS /MA=C800-CFFF
DEVICE=C:¥EZGOING¥AUTODRV.SYS C:¥EZGOING¥AUTODRV.INI
DEVICE=C:¥CBIDE2¥DUOATA16.SYS /V                    (CBIDEⅡ用ドライバ)
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥ATASPI.EXE  /CBIDE2
DEVICE=C:¥DDEV¥MOD¥MODISK.SYS  /ID=00   (MOA-AXシリーズ用ドライバ)
LASTDRIVE = Z
```

■PC-9821シリーズ

```
DEVICE=A:¥DOS¥EMM386.EXE /E=DC00-DFFF               (メモリマネージャ)
（弊社 VMM386.EXE の場合　C:¥MDEV¥IOSPRO¥VMM386.EXE /ROM=DC-DF）

DEVICE=A:¥DOS¥SSDRV.SYS                             (ソケットサービス)
DEVICE=A:¥DOS¥CS.EXE                                (カードサービス)
DEVICE=A:¥DOS¥CSALLOC.EXE A:¥DOS¥CSALLOC.INI
DEVICE=A:¥DOS¥CARDID.EXE A:¥DOS¥CARDID.INI
DEVICE=A:¥CBIDE2¥DUOATA16.SYS /V                    (CBIDEⅡ用ドライバ)
DEVICE=A:¥DDEV¥MOD¥ATASPI.EXE  /CBIDE2
DEVICE=A:¥DDEV¥MOD¥MODISK.SYS  /ID=00  /ASPI
                                                    (MOA-AXシリーズ用ドライバ)
LASTDRIVE = Z
```

ドライバの詳細

ここでは、MS-DOS（PC DOS,Windows3.1）で使用するドライバについての詳細を説明します。必要に応じてご覧ください。



CONFIG.SYSの例では、“O”は「ｵｰ」、“0”は「ｾﾞﾛ」となります。

DUOATA16.SYS

CBIDEⅡ用カードサービスクライアントドライバです。CBIDEⅡカードを初期化してI/Oポートを割り当てます。

〈書式〉

DEVICE=C:¥CBIDE2¥DUOATA16.SYS ［オプション］
（インストール先フォルダがCドライブの場合）

〈オプション〉

/V	詳細情報を表示します。
/IO=	I/Oポートアドレスを指定します。通常は自動的にI/Oアドレスが決定されるため、設定する必要はありません。I/Oアドレスの競合が起こった場合に、任意のアドレスに変更します。 ◎DOS/Vマシンの場合 180, 190, 1A0のいずれかを指定します。 〈使用例〉（“**O**”はｵｰ、“**0**”はｾﾞﾛ） DEVICE=C:¥CBIDE2¥DUOATA16.SYS /IO=180 （この場合 I/Oアドレスが 180-187, 386-387に割り当てられます。） ◎PC-9821シリーズの場合 xxD0 or xxE0と指定します。※(xxは任意の値) 〈使用例〉（“**O**”はｵｰ、“**0**”はｾﾞﾛ） DEVICE=A:¥CBIDE2¥DUOATA16.SYS /IO=01D0 （この場合 I/Oアドレスが1D0-1D7, 1D8-1D9に割り当てられます。） ※ハードウェア仕様と異なりますが、正しく指定できます。
/MEM=	CBIDEⅡカードはデータ転送時にメモリ空間を使用します。 （デフォルトではメモリ空間を使用しません。） 使用する環境によってはメモリ空間の空きがなくカードが初期化されない場合がありますが、その場合 /MEMオプションにてメモリウィンドウの長さを指定します。（但し、メモリ空間のサイズが小さくなると、データ転送速度が低下します。） 設定値は 0 or 4 or 8です。 それぞれ 0Kバイト, 4Kバイト, 8Kバイトのメモリウィンドウを開きます。

DUOATAPE.SYS(PC98-NXシリーズおよびDOS/Vマシン用)

本製品では使用しません。
CBIDEⅡに接続したCDPシリーズからWindows98/95をインストールする際に使用します。CBIDEⅡカードを初期化してリソースを割り当てます。PCカードコントローラ(PCIC)を直接操作し、CBIDEⅡを初期化します。(Intel82365互換コントローラに対応)ソケットサービス、カードサービスは必要ありません。

〈書式〉

DEVICE=C:¥CBIDE2¥DUOATAPE.SYS ［オプション］
（インストール先フォルダがCドライブの場合）

〈オプション〉

/V	詳細情報を表示します。
/IO=	I/Oポートアドレスを指定します。 180, 190, 1A0のいずれかを指定します。(デフォルト：180) 〈使用例〉(“**O**”はｵｰ、“**0**”はｾﾞﾛ) DEVICE=C:¥CBIDE2¥DUOATAPE.SYS /IO=180 （この場合 I/Oアドレスが 180-187, 386-387に割り当てられます。）
/MA=	メモリ空間アドレスを指定します。(指定しない時は自動検索します。) C000,C400,C800,CC00,D000,D400,D800,DC00のいずれかを指定します。

DUOATADD.SYS

本製品では使用しません。
ハードディスクドライブまたはMOドライブのドライブ名を割り当て、DOSでアクセス可能とする為のデバイスドライバです。CBIDEⅡがDUOATA16.SYSで初期化されている必要があります。

〈書式〉

DEVICE=C:¥CBIDE2¥DUOATADD.SYS
（インストール先フォルダがCドライブの場合）

〈オプション〉

/MODE=	アクセスモードを指定します。 /MODE=L ：PIO転送を行います。 /MODE=H ：データ転送時にメモリ空間を使用し、高速転送を行います。

DUOATACD.SYS

本製品では使用しません。

CBIDEⅡ接続のCD-ROM用ドライバです。CBIDEⅡがDUOATA16.SYSまたは
DUOATAPE.SYSで初期化されている必要があります。

<書式>

DEVICE=C:¥CBIDE2¥DUOATACD.SYS ［オプション］
（インストール先フォルダがCドライブの場合）

<オプション>

/D	xxxxxxxxCDのデバイス名を指定します。指定のないときはIDECD001となります。必ず、AUTOEXEC.BATに組み込まれている「MSCDEX.EXE」記述行のオプションと統一してください。

SMARTDRV.EXE

本製品では使用しません。

SMARTDRV.EXEにより、CD-ROMドライブがキャッシュされている場合には、
Photo CDやVideo CDなどのCD-ROM XAフォーマットのメディアが正常に読めません。
CD-ROMドライブへのキャッシュを下記の方法で無効にしてご使用ください。

例：CD-ROMドライブが E: の場合

SMARTDRV E-

ATASPI.EXE

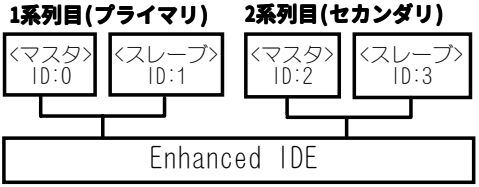
このデバイスドライバは、ATAPI対応ドライブをASPIコマンドで制御できるように、
ATAPIデバイスとSCSIデバイスの違いを吸収するドライバです。
本製品を使用する際に必要です。

プログラム名　　**ataspi.exe**
書式　　**device=ataspi.exe［オプション］**

【オプション】

/CBIDE2	本製品のPCカードに対応します。 本製品をお使いになる際に必要ですので、つけてください。
/UIDE	**本製品では使用しません。** 弊社製品「UIDEシリーズ」に対応します。 UIDEシリーズをお使いの場合につけてください。

接続されているATAPIデバイスに以下のようにターゲットIDを割り振ります。



MODISK.SYS

このデバイスドライバは、弊社製MOドライブ専用のASPI対応ディスクドライバです。

プログラム名　　**modisk.sys**
書式　　**device=modisk.sys［オプション］**

【オプション一覧】

/INFO[=n]	ディスクドライバ組み込み時に、各種の情報を表示します。 n には情報表示のレベル(0～3)を指定します。 =0　情報表示無し =1　ドライブ名とデバイスタイプ、IDの対応を表示(初期設定) =2　ドライブ名とデバイスタイプ、IDの対応を詳細表示 =3　ASPIマネージャの情報表示とドライブ名、デバイスタイプ、IDの対応を詳細表示
/NOLOCK	ディスクアクセス時のMOディスク排出禁止処理を無効にします。このスイッチが指定されていない場合は、MS-DOSがディスクアクセスを行っている間、誤操作防止のためイジェクトボタンが無効になります。（MS-DOSのバージョンによっては、イジェクトボタンが無効にならない場合があります。）

/ID=<id>[,<id>[,・・・]]	本製品や他のSCSI機器が使用しているターゲットIDを指定します。 例）ターゲットIDの0,1を使用している場合 /ID=0,1 このスイッチが指定されていない場合には、すべてのターゲットIDを検索して使用可能なデバイスを探します。 また、<id>は以下の形式でも記述できます。 <HostAdapter#><ターゲットID>　　または <HostAdapter#><ターゲットID><LUN> <HostAdapter#>……0～9（SCSI ホストアダプタ番号） SCSIインターフェイスを複数使用する場合、各SCSIインターフェイスに割り当てられている番号やATASPI.EXE自身のホストアダプタ番号 <ターゲットID>……0～7（ターゲットID） 各SCSIインターフェイスで使用しているSCSI機器のSCSI-IDやATASPI.EXEが割り当てるID <LUN>…… 0～7（論理装置番号） 6連装CD-ROMドライブなど、複数のドライブを切り替えて使用するSCSI機器の論理装置番号 <HostAdapter#>は通常「0」となります。（PC-9821シリーズでATASPI.EXEとSCSIインターフェイスを併用する場合は、ASPIマネージャが別途必要になります。） 例）ターゲットIDの0,1を使用している場合 /ID=00,01　　または /ID=000,010
/LUN	/ID オプションを指定しない場合の使用可能なデバイス検索で、論理装置番号の全て（0～7）を検索します。 このオプションを指定しなかった場合は、論理装置番号 0 のみの検索となります。
/ASPI	PC-9821シリーズでASPIマネージャを使用する際に指定します。（DOS/Vマシンでは、常に有効となります。） ※ PC-9821シリーズで本製品を使用する場合は、必ず指定してください。
/PAUSE	このディスクドライバを組み込み中に、表示を一時停止します。
/WCACHE	本製品のライトキャッシュ機能を有効にします。
/NOWCACHE	本製品のライトキャッシュ機能を無効にします。

/IGNERR	ライトキャッシュ使用中に修復不可能な書き込みエラーが発生した場合、確認メッセージを表示後、エラーを無視して処理を続行します。 このスイッチが指定されていない場合には、エラー発生後の該当ドライブへのアクセスは全て拒否され、被害の拡大を抑えます。
/US	強制英語表示指定 （DOS/Vマシンの日本語表示環境でも英語表示をします。）
/FDISK	DOS/VマシンのハードディスクフォーマットされたMOディスクへのアクセスを許可します。このオプションを指定すると、DOS/Vマシン用ハードディスクフォーマットされたMOディスクの第1パーティションのみを読み書きできます。
/NOEXCLUDE	MS-DOS(PC DOS)から認識されているドライブをmodisk.sysの処理対象から除外しません。 通常は、MS-DOS(PC DOS)に認識されているドライブはmodisk.sysの対象外として処理されますが、一部のASPIマネージャとの組み合わせで、このオプション指定が必要となる場合があります。（通常は設定しないでください。） このオプション指定をする場合は、必ず「/ID」オプションで対象となるドライブを指定してください。 ・「/FDISK」オプションと併用しないでください。



modisk.sysの組み込み時に[CTRL]キーを押していると、組み込みを中止できます。最大8台までのドライブを制御できます。
ただし、modisk.sysの組み込み時に、ドライブ名が「Z:」を越えた場合は、以降のドライブは無視されます。

MODISKX.SYS

プログラム名　　modiskx.sys
書式　　device=modiskx.sys［オプション］

本ドライバは、DOS/VマシンのFDISKコマンドで複数の領域が作成されているMOディスクをアクセスする場合に使用します。
本ドライバは、1台の物理ドライブで最大4個の論理ドライブに対応しています。（対応できる物理ドライブは最大4台まで。）
各種のMOディスクを挿入した場合の論理ドライブの割り当て方法を下記に示します。（本ドライバで、640M/1.3Gバイトの MOディスクはアクセスできません。）

論理ドライブ	スーパーフロッピィ・フォーマット ※		ハードディスク・フォーマット ※				その他の形式
	IBM形式	セミIBM形式	割り当てる論理ドライブ数1	割り当てる論理ドライブ数2	割り当てる論理ドライブ数3	割り当てる論理ドライブ数4	
1番目	ディスクイメージ	ディスクイメージ	最初の有効な領域	最初の有効な領域	最初の有効な領域	最初の有効な領域	Unknown Media
2番目	Not Ready	Not Ready	Not Ready	2番目の有効な領域	2番目の有効な領域	2番目の有効な領域	Not Ready
3番目	Not Ready	Not Ready	Not Ready	Not Ready	3番目の有効な領域	3番目の有効な領域	Not Ready
4番目	Not Ready	Not Ready	Not Ready	Not Ready	Not Ready	4番目の有効な領域	Not Ready

ディスクイメージ：通常のMOディスクとして認識できます。　※640M/1.3GバイトのMOディスクを除く
Not Ready　：ドライブの準備ができていません。
Unknown Media　：不正なMOディスクです。

【オプション一覧】

/INFO[=level]	modisk.sysと同じ
/NOLOCK	modisk.sysと同じ
/ID=<id>[,<id>[,・・・]] [(<Partitions>)]	本製品や他のSCSI機器が使用しているターゲットIDを指定します。 例）ターゲットIDの0、1を使用している場合 /ID=0,1 このスイッチが指定されていない場合には、すべてのターゲットIDを検索して使用可能なデバイスを探します。 <Partitions>は、割り当てる論理ドライブ数を1～4の範囲で指定します。この指定が省略された場合には、/PARTITIONスイッチで指定した数の論理ドライブが割り当てられます。 例）ターゲットIDの2に、論理ドライブを3個割り当てる場合 /ID=2(3)

/ID=<id>[,<id>[,・・・]][(<Partitions>)]	また、<id>は以下の形式でも記述できます。 <HostAdapter#><ターゲットID>　　または <HostAdapter#><ターゲットID><LUN> <HostAdapter#>……0～9（ホストアダプタ番号） SCSIインターフェイスを併用する場合、 ATASPI.EXEやSCSIインターフェイスに割り当てられている番号 <ターゲットID>……0～7（ターゲットID） ATASPI.EXEが割り当てるIDや各SCSIインターフェイスで使用しているSCSI機器のSCSI-ID <LUN>……0～7（論理装置番号） 6連装CD-ROMドライブなど、複数のドライブを切り替えて使用するSCSI機器の論理装置番号 <HostAdapter#>は通常「0」となります。（PC-9821シリーズでATASPI.EXEとSCSIインターフェイスを併用する場合は、ASPIマネージャが別途必要になります。） 例）ターゲットIDの0､1を使用している場合 /ID=00,01　　または /ID=000,010
/LUN	modisk.sysと同じ
/ASPI	modisk.sysと同じ
/PAUSE	modisk.sysと同じ
/WCACHE	modisk.sysと同じ
/NOWCACHE	modisk.sysと同じ
/IGNERR	modisk.sysと同じ
/US	modisk.sysと同じ
/NOEXCLUDE	modisk.sysと同じ
/PARTITION =<Partitions>	各物理ドライブに割り当てる論理ドライブ数のデフォルト値を指定します。（/ID=<id>(Partitions)指定されていない物理ドライブで、このオプションが有効になります。）<Partitions>に指定できる値は1～4で、デフォルト値は1です。



modiskx.sysの組み込み時に[CTRL]キーを押していると、組み込みを中止できます。最大4台までのドライブを制御できます。
ただし、modiskx.sysの組み込み時に、ドライブ名が「Z:」を越えた場合は、以降のドライブは無視されます。

MOUTL.EXE

このプログラムはMS-DOSコマンド入力状態からオプションを付けて以下のように直接起動することができます。オプションをつけないと、メニュー形式になります。

プログラム名　　**moutl.exe**
書式　　**moutl**［オプション］　［ドライブ指定またはモード指定］

【ドライブ指定】

処理を行うドライブを指定します。MS-DOSのドライブ名で指定する場合は<drive>: の形式（ドライブ装置全体が対象）、ターゲットIDで指定する場合は#<ターゲットID> の形式で指定します。

【オプション一覧】

?	オプションの簡単な説明を表示します。
E	指定ドライブのディスクをイジェクトします。
P	指定ドライブのイジェクトを禁止します。
A	指定ドライブのイジェクトを許可します。
I	指定ドライブのディスクタイプを表示します。
LUN	論理装置の１番から７番までを使用する場合に指定します。
US	強制英語表示指定（日本語表示環境でも英語表示をします）
L	本製品のドライブリストを表示します。 表示例）　MOA-AX640SW/CBIDEの場合 D:　HA:0　ID:0　MOディスク　FUJITSU　M25-MCC3064AP D: ..... ドライブ名（複数パーティションになっている場合は先頭ドライブ名） HA:0 ..... ホストアダプタ番号（通常は「0」） ID:0 ..... ターゲットID MOディスク ..... デバイス種別 FUJITSU ..... ベンダー名称 M25-MCC3064AP ..... ドライブの製品名
ASPI	PC-9821シリーズでASPIマネージャを使用する際に指定します。 ※ 必ず指定してください。
CACHE [R{+|-}][W{+|-}]	本製品のキャッシュ設定状態を変更します。 R+ ..... リードキャッシュON R- ..... リードキャッシュOFF W+ ..... ライトキャッシュON W- ..... ライトキャッシュOFF

付録

困った時には ・・・・・・・・・・・・１１０

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

サポートソフトの削除 ・・・・・・・・・・・・１２８

サポートソフトの削除方法を説明します。

RINGOWIN LEについて ・・・・・・・・・・・・１３６

RINGOWIN LEについて説明します。

WindowsとMac OSでデータ交換しよう ・・・・・・・・・・・・１３７

WindowsとMac OSでデータを交換する方法を説明しています。

用語解説 ・・・・・・・・・・・・１３９

本書内の用語を説明します。

ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・１４０

本製品の仕様を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない	111
MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する	
フォーマットや書き込み中に処理が中断される	
MOディスクにファイルの書き込みができない	112
MOディスクを取り出せない	

Windows 2000でのトラブル

「ドライブのロックに失敗しました」と表示される	113
Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクのフォーマットや取り出しができない	
NTFS形式のMOディスクを読み書きできない	114
アクセスランプが点灯していないのにエラー画面が表示される	

Windows Me/98/95でのトラブル

インストール時に「カードサービスがインストールされていません」と表示される	115
ファイルの読み書きができない	
MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る	
十分な空き容量があるのに書き込みができない	116
「MOフォーマット」が表示されない	
本製品を接続すると青い画面になり、パソコンが動かない	117
PCカードのプロパティで「(空)-ソケット1(2)」と表示される	
SONY製VAIO PCG-731/733/737で、サスペンドを利用後にリセットがかかって、Safeモードでないと起動できない	119
PC98-NXシリーズで、[デバイスマネージャ]タブが表示されない	
OS起動中に止まってしまう	120
Windows 98で、OSの終了画面で止まってしまう	
本製品を「CardBusモード」で使用時、サスペンドから復帰したらMOドライブのアイコンが消えたりアクセスできない	123
[新しいハードウェア]画面が表示されたまま消えない	
インストール後に本製品を取り付けても［新しいハードウェア］画面が表示されない	124

Windows 3.1、MS-DOSでのトラブル

本製品にアクセスすると「準備ができていません」と表示される	125
カードサービスに関するエラーが表示される	

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない

原因１ **「更新」されていない(Windowsのみ)**

［マイコンピュータ］をダブルクリックし、表示された画面の［表示］メニューから［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因２ **正常に認識されていない**

【4. 確認しよう】(30, 52, 72, 90ページ)をご覧になり、正常認識されているか確認してください。

原因３ **ドライブが割り当てられていない(Windows Me/98/95のみ)**

【ドライブ名の予約】(127ページ)をご覧ください。

MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する

原因 **本製品のヘッドが汚れている**

【注意事項】の8ページをご覧になり、本製品のヘッドをクリーニングしてください。

フォーマットや書き込み中に処理が中断される

原因 **長時間使うことで高温になり、安全装置が働いた**

システムを終了してパソコンの電源を切り、MOドライブが冷えるまでしばらくお待ちください。

MOディスクにファイルの書き込みができない

原因 **MOディスクがライトプロテクトされている**

MOディスクのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。ライトプロテクトについては、MOディスクの説明をご覧ください。

MOディスクを取り出せない

原因１ **本製品の電源が入っていない**

本製品の電源を入れた状態で、MOディスクを取り出してください。

原因２ **機械的な故障や、その他の理由で取り出せない**

パソコンの電源を切ってから、MOドライブの電源を切ります。
添付の強制イジェクト・ピンを強制イジェクト・ホールに
約25㎜ほど差し込むとイジェクトします。

※ これは、緊急時の操作です。
むやみに使うと故障の原因となります。
この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。

Windows 2000でのトラブル

「ドライブのロックに失敗しました」と表示される

原因 **MOディスク内のファイルを開いている**

「MOディスクフォーマッタ」の作業時に、他のアプリケーションでMOディスク内のファイルを開いていたり、「エクスプローラ」でMOディスク内を開いていると、このエラーが表示されます。MOディスク内を開いているすべてのアプリケーションを終了し、もう一度フォーマットしてください。

Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクのフォーマットや取り出しができない

原因1 **「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」で権限を「全てのユーザー」にしていない**

Windows 2000は、そのままではAdministrator権限以外のユーザーにてMOディスクのフォーマットや取り出しをすることはできません。

【フォーマット／イジェクト権限ツール】(40ページ)をご覧になり、権限を「全てのユーザー」にしてください。

原因2 **本製品を接続したまま起動していない**

MOディスクをフォーマットしたり、取り出したい場合は、必ず電源の入った本製品を、パソコンのPCカードスロットに接続した後でWindows 2000を起動してください。

また、この方法でWindows 2000を起動しても一度本製品をパソコンのPCカードスロットから取り外し、再び接続した場合はMOディスクをフォーマットしたり取り出したりすることはできません。その際は、本製品を接続したまま、Windows 2000を再起動してください。

NTFS形式のMOディスクを読み書きできない

原因 **MOディスクがライトプロテクト状態になっている**

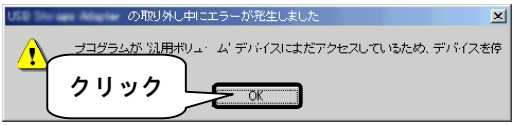
他のMOドライブなどで作ったNTFS形式のMOディスクをお使いになる場合は、ライトプロテクトノッチを書き込み許可にしてください。

アクセスランプが点灯していないのにエラー画面が表示される

原因 **「MOディスクフォーマッタ」で物理フォーマットしたか、フォーマット後すぐに本製品を取り外した**

本製品を取り外すとき、本製品のアクセスランプが点灯していないのに、手順 *1* の画面が表示された場合は、以下の手順で取り外せます。

1 **[OK] ボタンをクリックします。**



2 **Windows 2000を再起動します。**

3 **パソコンのPCカードスロットから本製品を取り外します。**

【基本操作について】(32ページ)をご覧ください。

Windows Me/98/95でのトラブル

インストール時に「カードサービスがインストールされていません」と表示される

原因 **Windows 3.1、MS-DOS用のドライバをインストールしようとしている**

41ページ【Windows Me/98/95でお使いの場合】の手順にしたがいお進みください。

ファイルの読み書きができない

原因 **MOディスクのフォーマット形式が異なっている**

1)MOディスク内のデータが必要ない場合は、【●MOディスクをフォーマットする】(60ページ)の手順でフォーマットしてお使いください。（データは全て無くなります）

2)Macintoshのフォーマット形式の場合は、「RINGOWIN LE」を使ってください。

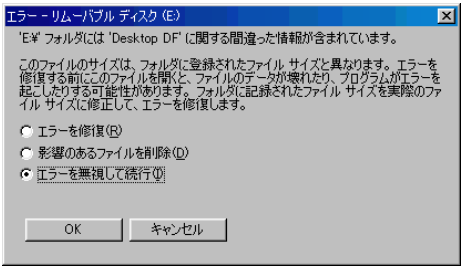
※ ただし、Mac OSで本製品を使ってフォーマットしたMOディスクは「RINGOWIN LE」では認識できません。

MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る

原因 **そのMOディスクを一度Macintoshで使っている**

一度、Mac上にマウントしたDOSフォーマット(IBM,もしくはFDISK)のMOディスクをWindows 98上でスキャンディスクを実行した場合、次のようなエラーが表示される場合があります（ファイル「Desktop DF」は、Mac OS上で管理に必要な情報が含まれたファイルです）。この場合は、「エラーを無視して続行」を選んでください。

（画面例は次ページ）



十分な空き容量があるのに書き込みができない

原因

ルートフォルダに置くことの出来るファイル数を超えている

ルートフォルダ（MOディスクの一番上）に置くことの出来るファイル（フォルダ）の数には制限があります。制限を超えると空き容量があってもエラーが表示され、書き込む事が出来なくなることがあります。

その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダの作成を行ってください。

作成されたフォルダ内ではファイル数の制限はありません。

「MOフォーマット」が表示されない

原因

MOドライブのインストールが正しく行われていないか、設定が正しくない

［スタート］→［プログラム］→［MOシリーズサポートソフト］があるかどうか、確認します。

無い場合は、【使えるようにしよう】(42ページ)を行います。

ある場合は、さらにその先の［MOフォーマットアシストの設定］をクリックし、「MOフォーマットアシストを有効」にします。

すでに「MOフォーマットアシストを有効」になっていた場合は、【サポートソフトの削除】(128ページ)の作業を行い、その後、もう一度【使えるようにしよう】(42ページ)を行ってください。

本製品を接続すると青い画面になり、パソコンが動かない

原因 本製品が使えるようになっていない

1 **パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。**
全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

2 **パソコンを再起動します。**
パソコンのリセットボタンか電源ボタンを使って、再起動します。

3 **本製品を使えるようにします。**
【使えるようにしよう】(42ページ)の手順を行ってください。

PCカードのプロパティで「(空)-ソケット1(2)」と表示される

原因 IBM製ThinkPadで本製品を使用している(Windows 95)

1 **本製品の電源を入れ、パソコンに接続します。**

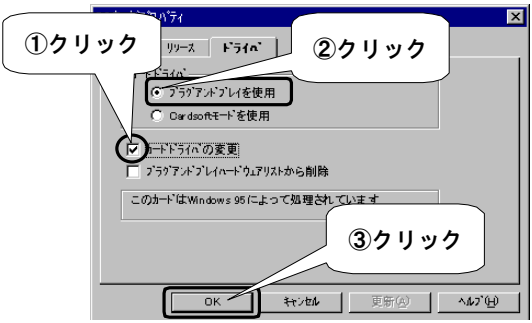
2 **「CardWizard」を起動します。**
デスクトップ上にある[CardWizard]アイコンをダブルクリックします。
アイコンが無い場合は、[スタート]→[プログラム]→[CardWorks]→[CardWizard]を順にクリックします。
両方無い場合は、次ページ「[CardWizard]以外の方法」をご覧ください。

3 **［表示］→［プロパティ］を選択します。**

4 **［ドライバ］タブをクリックします。**

5 **［表示］→［プロパティ］を選択します。**

6 **「カードドライバ」を変更します。**
［カードドライバの変更］をチェックし、［プラグアンドプレイを使用］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。
（画面例は次ページ）



7 **［OK］ボタンをクリックします。**

8 **本製品をパソコンから取り外し、再び挿入します。**

［CardWizard］以外の方法

1 **「SYSEDIT」を起動します。**

①［スタート］→［ファイル名を指定して実行］を順にクリックします。
②［名前］欄に「SYSEDIT」と入力し、［OK］ボタンをクリックします。

2 **「CONFIG.SYS」を編集します。**

①［CONFIG.SYS］画面をクリックします。
②全ての「¥CardWorks¥」と記述された行の一番前に、「REM（半角スペース）」を追加入力します。
③上書き保存を行い、画面を閉じます。

3 **パソコンを再起動します。**

4 **本製品をパソコンに接続します。**

5 **「PCカードのプロパティ」を確認します。**

確認方法は、52ページ【確認しよう】をご覧ください。

注意

確認したが、PCカードが表示されない
弊社サポートセンター（142ページ）までご連絡ください。

6 **「SYSEDIT」を起動します。**

起動方法は、手順 **1** をご覧ください。

7 手順２で追加した「REM（半角スペース）」を全て削除します。

削除後、上書き保存を行い、画面を閉じます。

SONY製VAIO PCG-731/733/737で、サスペンドを利用後にリセットがかかって、Safeモードでないと起動できない

原因 サスペンドの設定に問題がある

1 パソコンの下側のPCカードスロットにPCカードを挿入します。

2 「PowerPanel」の設定で、「Modem Ring Resume」を「オフ」にします。

「PowerPanel」についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 「パワーマネジメント」の設定を変えます。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[パワーマネジメント]をダブルクリックします。[詳細]タブをクリックし、[電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す]のチェックを外します。

PC98-NXシリーズで、[デバイスマネージャ]タブが表示されない

原因 アドバンスドモードにする必要がある

1 「Cyber Trio-NXセットアップ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（［NXユーティリティ］、［NXの設定］）→［Cyber Trio-NXセットアップ］を順にクリックします。

2 「アドバンスドモード」にします。

[アドバンスドモード]にチェックし、［OK］ボタンをクリックします。

3 Windowsを再起動します。

OS起動中に止まってしまう

原因 **本製品のPCカード［CBIDEⅡ］と他のPCカードの組み合わせが悪い**

【注意事項】の8ページをご覧ください。

Windows 98で、OSの終了画面で止まってしまう

原因 **USBドライバとPCカードのリソースが競合している**

方法1 USBドライバのリソース値を、以下の手順で変更してください。

1 PCカード［CBIDEⅡ］を接続せずに、Windows 98を起動します。

2 「システムのプロパティ」を表示します。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

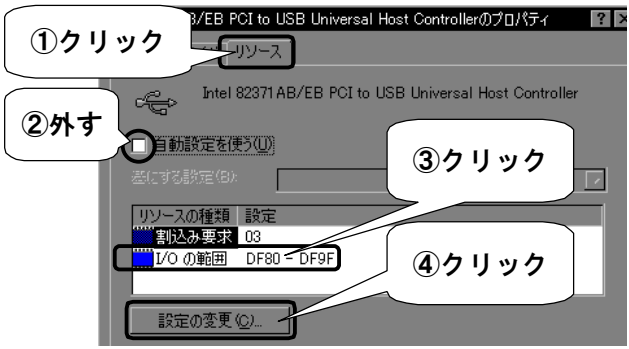
4 USBドライバのプロパティを開きます。

［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックし、その下のUSBドライバをダブルクリックします。



5 ［I/Oの範囲］を編集します。

①［リソース］タブをクリックします。
②［自動設定を使う］のチェックを外します。
③［I/Oの範囲］を選択します。
④［設定の変更］ボタンをクリックします。



6 リソースの値を変更します。

「競合の情報」に「競合なし」と出るよう「値」を変更します。
［OK］ボタンをクリックします。

7 表示にしたがい、リソースを有効にします。

8 同じトラブルが出る場合は、また変更します。

方法２ 「方法１」で改善されない場合は、この方法をお試しください。

1 ［システム情報］を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］→［システム情報］を順にクリックします。

2 ［詳細設定］を表示します。

［ツール］→［システム設定ユーティリティ］→［詳細設定］を選択します。

3 「高速シャットダウンを使用不可にする」にチェックします。

方法３ USBドライバを、使用不可にします。

1 CBIDEⅡを挿入せずに、Windows 98を起動します。

2 「システムのプロパティ」を表示します。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

4 USBドライバのプロパティを開きます。

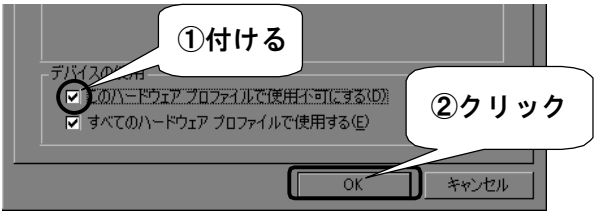
［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリックし、その下のUSBドライバをダブルクリックします。



5 USBドライバを無効化します。

［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］にチェックをつけます。

［OK］ボタンをクリックします。



注意

トラブルがなおった
リソース(I/Oの範囲)の競合が問題です。「方法1」を再度お試しください。

本製品を「CardBusモード」で使用時、サスペンドから復帰したらMOドライブアイコンが消えたりアクセスできない

原因 **本製品のPCカード［CBIDEⅡ］が認識されていない**

56ページ【本製品をパソコンから取り外す】をご覧になり、本製品をパソコンから取り外した後、もう１度接続し直してください。

［新しいハードウェア］画面が表示されたまま消えない

原因 **インストールしたデバイス（46ページ手順5）とPCカード[CBIDEⅡ]のモードスイッチの設定が異なる**

［キャンセル］ボタンをクリックして、モードスイッチの設定を合わせてください。

デバイスを変える場合は、【サポートソフトの削除】（128ページ）をご覧になり削除後、再びインストールしてください。

インストール後に本製品を取り付けても[新しいハードウェア]画面が表示されない

原因１ **32ビットカードドライバが表示されていない**

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックして、[PCカード(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。
②画面の指示にしたがい、インストールしてください。

原因２ **本製品が接続されていない**

50ページ【本製品を接続しよう】をご覧になり、正しく取り付けてください。

原因３ **本製品のPCカード［CBIDEⅡ］が正しくインストールされていない**

①128ページ【サポートソフトの削除】をご覧になり、サポートソフトを削除します。
②42ページ【使えるようにしよう】を行ってください。

Windows 3.1、MS-DOSでのトラブル

本製品にアクセスすると「準備ができていません」と表示される

原因 **本製品が正しく接続されていない**

85ページ【本製品を接続しよう】をご覧になり、正しく取り付けます。

カードサービスに関するエラーが表示される

原因 **カードサービスがインストールされていません**

インストールされているかどうか確認して、インストールされていない場合はインストールしてください。
カードサービスの詳細については、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。

エラーメッセージ

《DUOATA16.SYS関連エラーメッセージ》

オプションの記述が違います.

オプションの記述が間違っていないか確認してください。

カードサービスが常駐していません.

PCカードドライバ（ソケットサービス／カードサービス）をインストールしてください。詳しくはパソコンのマニュアルを参照するかパソコンのメーカーへお問い合わせください。

CBIDEⅡカードが見つかりません.

① PCカードスロットにCBIDEⅡが正しく接続されているか確認してください。
② CONFIG.SYS中のEMM386.EXEまたはVMM386.EXE等のメモリマネージャにUMB禁止オプションを付加してください。
③ CBIDEⅡのモードスイッチを「16bitモード」に切り替えてください。

RequestIOに失敗しました.

/IOオプションで指定したI/Oポートアドレスを変更してください。

RequestWindowに失敗しました.

/MEMオプションでメモリ空間の指定を変更してください。

《DUOATACD.SYS関連エラーメッセージ》

オプションの記述が違います.

オプションの記述が間違っていないか確認してください。

CBIDEⅡカードが初期化されていません.

DUOATA16.SYSがインストールされてません。
DUOATA16.SYSのエラーメッセージをご確認ください。

使用可能なドライブが接続されていません.

ポータブルシリーズが認識できません。接続、パワースイッチおよびマスター／スレーブ切り替えスイッチを確認してください。

《MSCDEX.EXE関連エラーメッセージ》

Device driver not found: 'xxxxxxxx'
No valid CDROM device drivers selected

DUOATACD.SYSの/D:オプションで指定したデバイス名とMSCDEXの/D:オプションで指定したデバイス名を同じにしてください。

Not enough drive letters available

CONFIG.SYSでの 'LASTDRIVE=' の設定を 'Z' に変更します。
CONFIG.SYSにLASTDRIVE=の記述がない場合は、'LASTDRIVE=Z' の１行を追加してください。



ネットワークを使用している場合には、LASTDRIVEを変更すると、ネットワークドライブ名が変化するので、ご注意ください。

《DUOATADD.SYS関連エラーメッセージ 》

CBIDEⅡカードが初期化されていません.

DUOATA16.SYSがインストールされてません。
DUOATA16.SYSのエラーメッセージをご確認ください。

有効なドライブが接続されていません.

HDPシリーズまたはMOP-230が認識できません。接続、パワースイッチ、マスター／スレーブ切り替えスイッチが「M」に設定されていることを確認してください。

ドライブ名の予約

1 **［システムのプロパティ］画面を開きます。**

［マイコンピュータ］を右クリックして表示されるメニューの［プロパティ］をクリックします。

2 **［デバイスマネージャ］タブをクリックして、［種類別に表示］をチェックします。**

3 **［ディスクドライブ］をダブルクリックして、表示された本製品をダブルクリックします。**



［ディスクドライブ］の下に表示される本製品の表示
MOA-AX1300W：FUJITSU MCE3130AP
MOA-AX640SW：FUJITSU MCF3064AP

4 **［設定］タブをクリックします。**

5 **「予約ドライブ文字」を設定します。**

［開始ドライブ］と「終了ドライブ」に、使っていない同じドライブ名を入力します。

6 **［OK］ボタンをクリックします。**

7 **［OK］ボタンをクリックします。**

8 **Windowsを再起動します。**

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。
お使いのOSのページをご覧ください。

・Windows 2000の場合　⇒　下記
・Windows Me/98/95の場合　⇒　130ページ
・Windows NT 4.0の場合　⇒　134ページ

Windows 2000の場合

1　パソコンの電源を切り、本製品を取り外します。

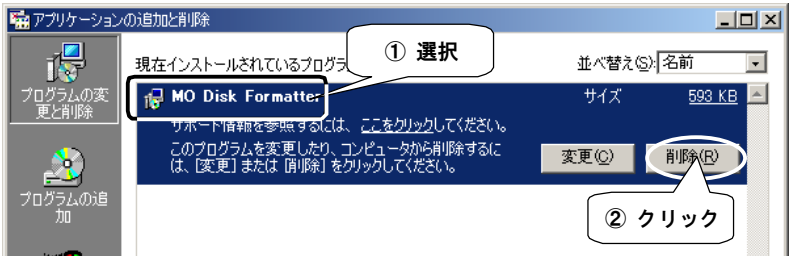
2　Administrator権限を持つユーザーでログオンします。

3　［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックし、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4　［MO Disk Formatter］を指定します。

［MO Disk Formatter］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。

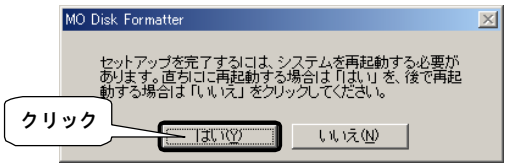


5　［はい］ボタンをクリックします。



6　［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動後、「MOドライブの情報」の削除は完了です。
引き続きPCカード［CBIDEⅡ］の削除を行います。



7 **［マイコンピュータ］アイコンを右クリックして、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。**

8 **［ハードウェア］タブをクリックして、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。**

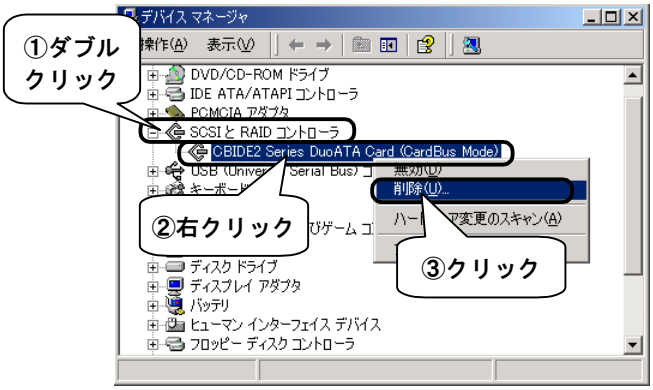
9 **以下を削除します。**

① ［SCSIとRAIDコントローラ］をダブルクリックします。

② ［CBIDE2 Series DuoATA Card (CardBus Mode)］※を右クリックします。

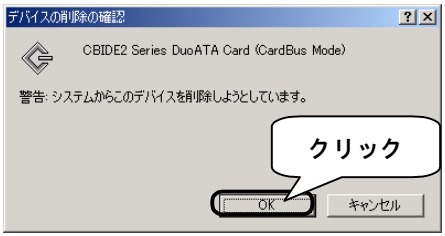
③表示されたメニューの［削除］をクリックします。

※お使いの環境により、[CBIDE2 Series DuoATA Card (16Bit Mode)]と表示されます。



10 **［OK］ボタンをクリックします。**

以上で「PCカード［CBIDEⅡ］の情報」の削除は完了です。

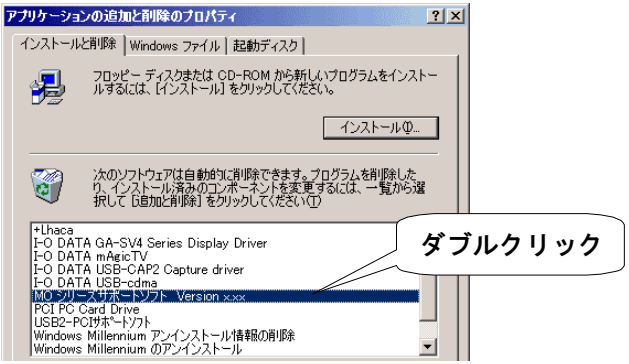


Windows Me/98/95の場合

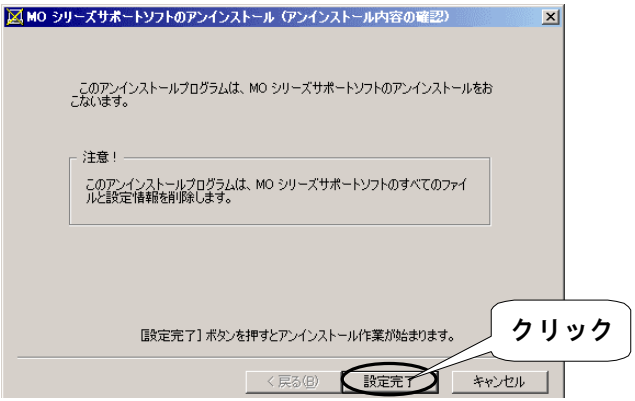
1 **［アプリケーションの追加と削除］を起動します。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］を順にクリックします。

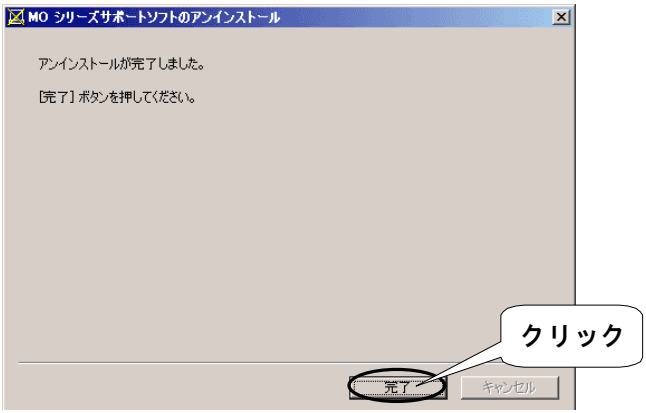
2 **「MOシリーズサポートソフト」をダブルクリックします。**



3 **［設定完了］ボタンをクリックします。**



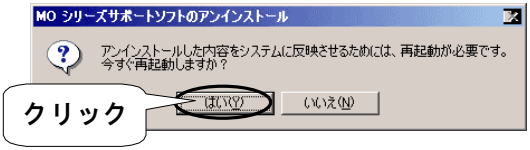
4 **［完了］ボタンをクリックします。**



5 **［はい］ボタンをクリックします。**

⇒再起動後、「MOドライブの情報」の削除は完了です。

引き続きPCカード［CBIDEⅡ］の削除を行います。



6 **PCカード［CBIDEⅡ］と本製品をパソコンから取り外します。**

取り外し方は、56ページ【本製品をパソコンから取り外す】をご覧ください。

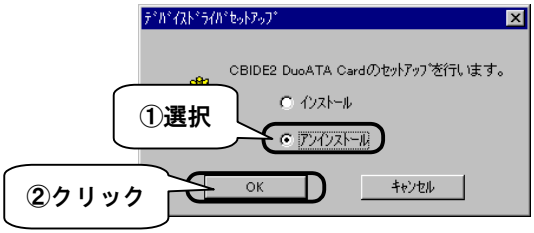
7 **「CBIDEⅡサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。**

8 ［Ddsetup］を起動します。

［マイコンピュータ］→［3.5インチFD］→［Win9x］→［Ddsetup］（または［Ddsetup.exe］）

を順にダブルクリックします。

9 ［アンインストール］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



10 ［OK］ボタンをクリックします。



11 **［OK］ボタンをクリックします。**



12 **「CBIDEⅡサポートソフト」をフロッピーディスクドライブから抜きます。**

13 **［はい］ボタンをクリックします。**

⇒再起動後、「PCカード［CBIDEⅡ］の情報」の削除は完了です。



Windows NT 4.0の場合

1 **パソコンの電源を切り、本製品を取り外します。**

2 **Administrator権限を持つユーザーでログオンします。**

3 **［アプリケーションの追加と削除］を起動します。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックし、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 **「MOシリーズサポートソフト」をダブルクリックします。**

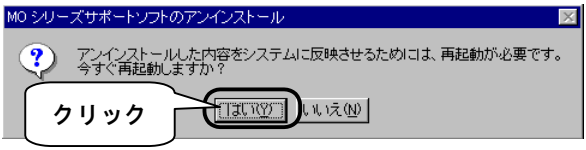
5 **［設定完了］ボタンをクリックします。**

6 **［完了］ボタンをクリックします。**

7 **［はい］ボタンをクリックします。**

⇒Windowsを再起動します。

引き続きサポートソフトの削除を行います。



8 **Administrator権限を持つユーザーでログオンします。**

9 **［SCSIアダプタ］アイコンを起動します。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックし、［SCSIアダプタ］アイコンをダブルクリックします。

10 **本製品を選択します。**

［ドライバ］タブをクリックし、［CBIDE2 Series DuoATA Card(16Bit Mode)］を選択します。

11 ［削除］ボタンをクリックします。



12 ［はい］ボタンをクリックします。



13 ［OK］ボタンをクリックして、画面を閉じます。

これで「MOドライブの情報」の削除は完了です。

RINGOWIN LEについて

RINGOWIN LEについて説明します。

RINGOWIN LEとは？

Windows側でMacintoshフォーマットの MOディスクを読み取ったり、Macintosh フォーマットのMOディスクを作成できるWindows Me/98/95およびWindows 3.1用ソフトウェアです。（Windows 2000、Windows NT 4.0には対応しておりません。）
これがあれば、WindowsでMac OSのデータを受け取ったり、Windowsのデータを変換して、Mac OSに渡すことができます。

RINGOWIN LEのインストール

本製品に添付のCD-ROMディスクの［RINGOWIN］フォルダ内にある「SETUP」を実行します。
詳細については、オンラインマニュアルをご覧ください。



オンラインマニュアルについて

- **オンラインマニュアルは、添付のCD-ROMのルートフォルダ内にある RINGOWIN（テキスト形式）やRWLE_1、RWLE_2、RWLE_3（WORD形式）です。**
- **WORD形式のオンラインマニュアルで、画面データなどが見にくい場合は、表示倍率を上げて（拡大して）ご覧ください。**

RINGOWIN LEの使い方

本製品に添付のCD-ROMディスクに、「RINGOWIN LE」のプログラム本体とオンラインマニュアルが入っています。
インストール方法や使用方法の詳細は、添付のCD-ROMディスクのルートフォルダ内にあるオンラインマニュアルをご覧になるか、実行中にヘルプを参照してください。



RINGOWIN LEを使ったデータ交換について
【WindowsとMac OSでデータ交換しよう】(次ページ)をご覧ください。

1.3Gバイトの MOディスクについて
RINGOWIN LEは1.3GバイトのMOディスクに対応しておりません。

WindowsとMac OSでデータ交換しよう

Mac OSとWindows Me/98/95およびWindows 3.1とでデータを交換する方法について説明します。



Windows 2000、Windows NT 4.0には対応しておりません。

データ交換の方法

MOディスクを下記の方法でフォーマットすることで、両方のOSで読み書きできるようにします。

MOディスクのフォーマット

●128～540Mバイトの MOディスク

Windowsでフォーマットした MOディスク（スーパーフロッピー形式）をお使いください。

●640Mバイトの MOディスク

Windows上で「RINGOWIN LE」を使って、「Macintoshフォーマット」でフォーマットした MOディスクをお使いください。



Mac OSで頻繁に使うMOディスクは
容量にかかわらず「RINGOWIN LE」を使ってフォーマットすることをおすすめします。
ただし、「Mac & Windows 混在フォーマット(RINGOWIN フォーマット)」ではお使いいただけません。

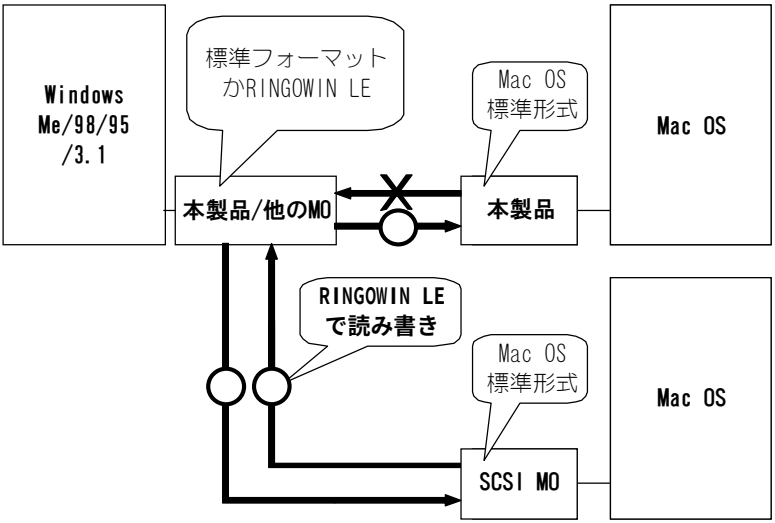
1.3Gバイトの MOディスクについて
RINGOWIN LEは1.3Gバイトの MOディスクに対応しておりません。

DOS形式について
Mac OSにてDOS形式の初期化を行うことはおすすめいたしません。
Windowsにてフォーマットを行ってください。

ソフトウェアのデータについて
ソフトウェアのデータのMac OS/Windows間互換については、データを生成したソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。

参考

●読み書き可能なフォーマット形式、MOドライブ相関表



●Mac OS上で初期化可能なフォーマット形式、相関表

		選択可能なフォーマット形式		
		Mac OS標準	Mac OS拡張	DOS
挿入したMOディスクのフォーマット形式	未フォーマット	○	○	△
	Mac OS標準	○	○	×
	Mac OS拡張	○	○	×
	スーパーフロッピー形式※	○	○	△
	FDISK形式※	×	×	△

※ File Exchangeが有効であること

参考

記号の説明
○·····可
×·····不可
△·····可だが、おすすめしない

用語解説

i･CONNECT［アイコネクト］

内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格。
i･CONNECT搭載ドライブは、i･CONNECT対応オプションと接続することにより「USB」接続、「IEEE1394(FireWire,i.LINK)」接続または「PCカード」接続ドライブとして使える。

※本製品は、「MOA-AXシリーズ（i･CONNECT搭載MOドライブ）」と、「PCカード［CBIDE II］」のセット品です。
MOA-AXシリーズは、i･CONNECT対応オプション（1394-iCNなど）と接続して、他のインターフェイスに対応したドライブとしてもお使いいただけます。

フォーマット

MOディスクを使えるようにするために必要な作業。
他に、初期化などと呼ぶこともある。

ハードウェア仕様

●MOA-AX1300W

インターフェイス	i･CONNECT
使用可能MOディスク	128M/230M※/540M※/640M※/1.3Gバイト **※オーバーライト対応ディスクを含む**
セクタサイズ	・128/230/540Mバイトの MOディスクは512バイト ・640M/1.3GバイトのMOディスクは2048バイト
シークタイム(平均)	28msec
MOディスク回転数	・128/230/540/640Mバイトの MOディスクは4500rpm ・1.3GバイトのMOディスクは3214rpm
データ転送速度(最大)	16Mバイト/Sec
バッファサイズ	2Mバイト
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	20～80%（ただし結露なきこと）
電源	ACアダプタ　DC +5.0V,2.2A
本体サイズ	117(W) × 187(D) × 33(H)mm
質量	約835g

●MOA-AX640SW

インターフェイス	i･CONNECT
使用可能MOディスク	128M/230M※/540M※/640M※バイト **※オーバーライト対応ディスクを含む**
セクタサイズ	・128/230/540Mバイトの MOディスクは512バイト ・640MバイトのMOディスクは2048バイト
シークタイム(平均)	28msec
MOディスク回転数	3600rpm
データ転送速度(最大)	16Mバイト/Sec
バッファサイズ	512Kバイト
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	20～80%（ただし結露なきこと）
電源	ACアダプタ　DC +5.0V,2.2A
本体サイズ	117(W) × 187(D) × 33(H)mm
質量	約830g

●CBIDE Ⅱ

モード	CardBusモード	16bitモード
カード仕様	PCカード規格準拠	
選択可能I/Oアドレス	任意の連続した32バイト	180h～187h, 386h～387h 190h～197h, 396h～397h 1A0h～1A7h, 3A6h～3A7h
占有メモリ	任意の連続した 4Kバイトメモリ空間	任意の連続した 4Kバイトメモリ空間※
選択可能IRQ	任意の割り込み (ただしWindows Me/98/95時のみ使用)	
入力電源	+3.3V±5%	+5V±5%
消費電流	40mA(max)	10mA(max)
外形寸法	85.6(W)× 50.4(L)× 5.0(H)mm	
質量	約30g	

※32ビットメモリマップ転送を使用する場合は、128Kバイトのメモリ空間をオープンする必要があります。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット　　http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「MOA-AX/CBIDEシリーズ」係　宛

■電話・FAX

電話番号	金沢　076-260-3661　東京　03-3254-1085
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポート・ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サービス窓口
「MOA-AX/CBIDEシリーズ」　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

MOA-AX/CBIDEシリーズ 取扱説明書
2001.Sep.10 60343-03
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000-2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。